

27. 救急医学分野

[付属病院救命救急科・付属病院高度救命救急センター・武蔵小杉病院救命救急センター・多摩永山病院救命救急センター]

研究概要

救急医学講座では研究テーマを「ショック・虚血再灌流に続発する臓器障害発生の機序解明」と設定し、外科、脳外科、整形外科、集中治療、熱傷、中毒、災害医学をサブスペシャリティーに持つ各グループが、幅広い学術研究・学会・論文発表を行った。

・外傷外科領域：重症外傷患者に行われる Open abdominal management 後の管理および新たな閉腹法の開発など、臨床手法に関して研究を進め報告を行った。

・脳神経外科領域：文部科学省や厚生労働省からの科学研究費等の複数の助成を受け、重症脳血管障害、頭部外傷、および蘇生後脳症に関して臨床的、基礎的研究を行ない、多くの成果を学会で発表した。特に、重症頭部外傷研究では、早期低体温療法導入の効果に関する国内外の多施設共同研究を当講座主導で開始するなど、頭蓋内病態把握および予後改善を目指した研究を推進している。

・集中治療領域：重症病態に併発する呼吸不全、循環動態に関するモニタリングおよび管理指標に関する研究を行い、学位論文として発表した。また、重症外傷等による呼吸不全に対する ECMO 管理、ECMO 患者搬送体制に関する研究・発表を行った。

・熱傷領域：熱傷患者の予後を予測する熱傷指数の有用性に関する研究を行い、予後予測に関する科学的検証を行った。

・中毒領域：急性薬物・毒物中毒に対する内視鏡を利用した評価および消化管除染の有用性に関する報告など積極的な中毒患者治療・管理に関する発表を国内外で行った。

・災害医療領域：ドクターカー運用データベース作成、現場活動に伴う心的ストレスの解析および対処法の開発、海外災害に対する国際緊急派遣報告など、本学が推進する積極的な病院前救急医療を行うためのシステム構築に関する研究から実際の活動まで、幅広い研究発表を行った。

・基礎研究領域：文部科学省科学研究費を受け以下複数の研究を行った。出血性ショック後、虚血腸管から全身へ炎症性メディエータを運ぶ経路として腸管リンパ液に注目し、腸管リンパ液中のマイクロ RNA 中の役割に関する研究を開始した。また、外傷による軟部組織損傷の影響を観察する実験モデル・腎虚血再灌流モデルを作成し、臓器障害発生に関する研究を行っている。頭部外傷領域では、電磁波によるこれまでにない実験頭部外傷モデルを作成し、本研究成果により当講座大学院生が学位論文を作成中である。

研究業績

論文

(1) 原著：

- 1) 市村美帆¹⁾、高田治樹²⁾、増野智彦、吉野美緒³⁾、稲本絵里⁴⁾、松井 豊²⁾、横田裕行 (¹⁾ 目白大学人間学部、²⁾ 筑波大学大学院人間総合科学研究科、³⁾ 日本医科大学付属病院小児科、⁴⁾ 日本医科大学多摩永山病院)：病院前救急診療活動を行う医師の活動中の感情と普段の精神的健康状態との関連。日本救急医学会雑誌 2014；25 (4)：141-151。
- 2) 中江竜太¹⁾、高山泰広、小川太志¹⁾、直江康孝¹⁾、横田裕行 (¹⁾ 川口市立医療センター救命救急センター)：Talk and Deteriorate の経過を呈した頭部外傷患者における D-dimer の検討。日本救急医学会雑誌 2014；25 (6)：247-253。
- 3) Satoh E^{1, 2)}、Tagami T^{1, 3)}、Watanabe A¹⁾、Matsumoto G¹⁾、Suzuki G¹⁾、Onda H¹⁾、Fuse A¹⁾、Gemma A²⁾、Yokota H¹⁾ (¹⁾ Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Department of Pulmonary Medicine and Oncology, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School, ³⁾ Department of Clinical Epidemiology and Health Economics, School of Public Health, Graduate School of Medicine, the University of Tokyo)：Association between Serum Lactate Levels and Early Neurogenic Pulmonary Edema after Nontraumatic Subarachnoid Hemorrhage. Journal of Nippon Medical School 2014；81 (5)：305-312。
- 4) 横堀将司^{1, 2)}、藤木 悠^{1, 2)}、山口昌紘^{1, 2)}、五十嵐豊^{1, 2)}、橋詰哲広^{1, 2)}、恩田秀賢^{1, 2)}、布施 明^{1, 2)}、横田裕行^{1, 2)} (¹⁾ Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, ²⁾ Japan Neurotrauma Databank Committee)：重症頭部外傷における脳室内出血の臨床的意義：積極的治療抵抗因子の病態は何か。Neurosurgical Emergency 2014；19 (2)：204-209。
- 5) 横堀将司、Bullock R¹⁾、Gajavelli S¹⁾、Bramlett H¹⁾、Dietrich W D¹⁾、横田裕行 (¹⁾ Department of Neurosurgery, University of Miami Miller School of Medicine)：頭部外傷における Thromboelastography (TEG) を用いた血液凝固モニタリング。バイオメディカル 2014；(24)：4-15。
- 6) 三橋正典¹⁾、田邊晴山、増野智彦、若菜 繁¹⁾、白井 忠¹⁾、岡田知己¹⁾、横田裕行 (¹⁾ 東京消防庁)：搬送資器材の選択は病院前心肺停止傷病者の一ヶ月脳機能予後に影響を与えるか？：東京都のウツタイン搬送データの解析。日本臨床救急医学会雑誌 2015；18 (1)：15-21。

- 7) Gajavelli S¹⁾, Shimoda K¹⁾, Diaz J¹⁾, Yokobori S²⁾, Spurlock M¹⁾, Diaz D¹⁾, Wick A¹⁾, Weichao Z¹⁾, Laiyee L¹⁾, Deborah S¹⁾, Tortella F¹⁾, Bullock R¹⁾ (¹⁾ Department of Neurosurgery, University of Miami Miller School of Medicine, Miami, FL, USA, ²⁾ Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School, Tokyo, Japan) : Glucose and oxygen metabolism following penetrating ballistic-like brain injury. *Journal of Cerebral Blood Flow and Metabolism*. 2015 ; 35 (5) : 773-780.
 - 8) Yokobori S, Watanabe A, Igarashi Y, Tagami T, Kuwamoto K, Ishinokami S, Yokota H : The serum level of brain natriuretic peptide increases in severe subarachnoid hemorrhage thereby reflecting an increase in both cardiac preload and afterload. *Cerebrovasc Dis*. 2014 ; 38 (4) : 276-83.
 - 9) Tagami T, Kuwamoto K, Watanabe A, Unemoto K, Yokobori S, Matsumoto G, Igarashi Y, Yokota H : Effect of Triple-H Prophylaxis on Global End-Diastolic Volume and Clinical Outcomes in Patients with Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage. *Neurocrit Care* 2014 ; 21 (3) : 462-469.
 - 10) Tagami T, Kuwamoto K, Watanabe A, Unemoto K, Yokobori S, Matsumoto G, Yokota H : Optimal range of global end-diastolic volume for fluid management after aneurysmal subarachnoid hemorrhage : a multicenter prospective cohort study. *Crit Care Med*. 2014 ; 42 (6) : 1348-1356.
 - 11) 横堀将司 : 治療薬物と持続脳波モニタリング. *Intensivist* 2014 ; 6 (4) : 727-733.
 - 12) 横堀将司 : シームレスな頭部外傷診療. *救急医学* 2014 ; 38 (7) : 779-783.
 - 13) Arai M, Kushimoto S¹⁾, Kim S, Masuno T, Hagiwara J, Ishii H, Yokota H (¹⁾ Division of Emergency and Critical Care Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine) : A novel technique for managing open abdomen with the combined use of mesh-mediated traction and the bilateral anterior rectus abdominis sheath turnover flap method : how to do it. *Surg Today* 2015 ; Epub ahead of print.
 - 14) Miyauchi M, Hayashida M, Yokota H : Evaluation of residual toxic substances in the stomach using upper gastrointestinal endoscopy for management of patients with oral drug overdose on admission : a prospective, observational study. *Medicine (Baltimore)* 2015 ; 94 (4) : 463-468.
- (2) 総説 :
- 1) 賀 亮, 新井正徳, 増野智彦, 松居亮平, 萩原 純, 石井浩統, 片桐美和, 金 史英, 宮内雅人, 辻井厚子, 横田裕行 : Open Abdomen Management における腹直筋外側ストーマの有用性の検討. *Japanese Journal of Acute Care Surgery* 2014 ; 4 (1) : 11-15.
 - 2) 金 史英, 萩原 純, 石井浩統, 増野智彦, 宮内雅人, 新井正徳, 横田裕行 : 当院高度救命救急センターにおける Acute Care Surgeon の育成カリキュラム. *日本腹部救急医学会雑誌* 2014 ; 34 (5) : 981-985.
 - 3) 五十嵐豊, 増野智彦, 横田裕行 : 東京 23 区内における医師現場出勤の特徴. *救急医学* 2014 ; 38 (11) : 1451-1453.
 - 4) 横田裕行 : 高齢者救急集中治療と終末期医療. *救急医学* 2014 ; 38 (9) : 1058-1064.
 - 5) 横田裕行 : 外傷学における頭部外傷の位置づけ : 第 28 回日本外傷学会総会・学術集会から. *脳神経外科ジャーナル* 2014 ; 23 (12) : 942-950.
 - 6) 荒木 尚, 横田裕行, 森田明夫¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院脳神経外科) : 小児における脳死 : その成り立ち, 診断基準と要点. *小児の脳神経* 2014 ; 39 (3) : 254-261.
 - 7) 増野智彦 : ECMO トランスポート. *救急・集中治療* 2014 ; 26 (11-12) : 1472-1477.
 - 8) 増野智彦 : 破傷風トキソイドは, 妊婦や小児に使用してもいいの?. *Emergency Care* 2015 ; 354 : 104-105.
 - 9) 増野智彦 : 妊娠している患者に使用してはいけない薬剤を教えてください. また, 予防接種で使用していないワクチンはあるの?. *Emergency Care* 2015 ; 354 : 106-107.
 - 10) 増野智彦 : 外傷患者で, はじめの点滴はなぜ外液なの?. *Emergency Care* 2015 ; 354 : 108-109.
 - 11) Yokobori S, Mazzeo A, Gajavelli S, Bullock R : Mitochondrial Neuroprotection in Traumatic Brain Injury : Rationale and Therapeutic Strategies. *CNS & Neurological Disorders - Drug Targets*. 2014 ; 13 (4) : 606-619.
 - 12) 横堀将司, 山口昌紘, 藤木 悠, 五十嵐豊, 橋詰哲広, 井上泰豪, 恩田秀賢, 布施 明, 横田裕行 : 頭部外傷におけるバイオマーカーの有用性と今後の展望. *脳神経外科ジャーナル* 2014 ; 23 (12) : 973-980.
 - 13) 横田裕行 : 救急救命士による処置範囲拡大の意義. *Pharma Medica* 2015 ; 33 (3) : 19-22.
 - 14) 荒木 尚 : 中等症・軽症頭部外傷への対応. *救急医学* 2014 ; 38 (7) : 822-826.
 - 15) 横田裕行 : 救急救命士による処置範囲拡大の意義. *Pharma Medica* 2015 ; 33 (3) : 19-22.
 - 16) 三宅康史^{1,2)}, 横田裕行^{1,3)}, 奥寺 敬^{1,4)}, 北原孝雄^{1,4)}, 島崎修次^{1,4)}, 坪倉正治^{1,4)}, 鶴田良介^{1,4)}, 中村俊介^{1,4)}, 小田泰崇^{1,4)}, 清水敬樹^{1,4)}, 白石振一郎^{1,4)}, 若杉雅浩^{1,4)} (¹⁾ 日本救急医学会熱中症に関する委員会, ²⁾ 委員長, ³⁾ 担当理事, ⁴⁾ 委員) : 熱中症の実態調査—日本救急医学会 Heatstroke STUDY 熱中症の実態調査 : 日本救急医学会 Heatstroke STUDY2012 最終報告. *日本救急医学会雑誌* 2014 ; 25 (11) : 846-862.

(3) 症例報告：

- 1) 宮内雅人, 石井浩統, 横田裕行, 高木 亮¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾ (1) 日本医科大学放射線医学) : 救急画像カンファレンス Q&A. 救急医学 2014 ; 38 (8) : 987-990.
- 2) Tsukiyama A, Tagami T, Kim S, Yokota H : Use of 3-Dimensional Computed Tomography to Detect a Barium-Masked Fish Bone Causing Esophageal Perforation. Journal of Nippon Medical School 2014 ; 81 (6) : 384-387.
- 3) Miyauchi M, Hayashida M¹⁾, Yokota H (1) Department of Legal Medicine, Nippon Medical School) : Benzalkonium chloride intoxication caused by intravenous self-injection. The Japanese Journal of Clinical Toxicology 2014 ; 27 (4) : 327-332.
- 4) Iwai K¹⁾, Miyauchi M, Komazawa D¹⁾, Murao R¹⁾, Yokota H, Koyama A¹⁾ (1) Department of Emergency and Critical Care Medicine, Iwaki Kyoritu General Hospital) : Utility of Upper Gastrointestinal Endoscopy for Management of Patients with Roundup®Poisoning. Journal of Clinical Toxicology 2014 ; 4 (6) : 218.
- 5) 服部 陽¹⁾, 松本 尚¹⁾, 安松比呂志¹⁾, 三木隆久¹⁾, 平林篤志¹⁾, 亀山大介¹⁾, 本村友一¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 益子一樹¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 林田和之¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : Damage Control Resuscitationにて救命し得た鈍的心損傷の1例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2014 ; 35 (2) : 281-285.
- 6) 宮内雅人, 石井浩統, 横田裕行, 高木 亮¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾ (1) 日本医科大学放射線医学) : 救急画像カンファレンス Q&A. 救急医学 2014 ; 38 (8) : 604-607.
- 7) 宮内雅人, 石井浩統, 横田裕行, 高木 亮¹⁾, 汲田伸一郎¹⁾ (1) 日本医科大学放射線医学) : 救急画像カンファレンス Q&A. 救急医学 2014 ; 38 (8) : 1600-1603.

著 書

- 1) 横田裕行 : [監訳] 赤ちゃんと子どもの応急処置マニュアル. 赤ちゃんと子どもの応急処置マニュアル【原書第5版】 ([監訳] 横田裕行 【翻訳主幹】 植田育也, 荒木尚), 2014 ; 南江堂.
- 2) 横田裕行 : [分担] 脳死と脳死下臓器提供. 脳神経外科診療プラクティス4 : 神経救急診療の進め方, 2014 ; pp86-88, 文光堂.
- 3) 横堀将司 : [分担] 高齢者救急診療における留意点. 脳神経外科診療プラクティス4 : 神経救急診療の進め方, 2014 ; pp238-242, 文光堂.
- 4) 横田裕行 : [分担] 頭部外傷 : 総論. 脳神経外科周術期管理のすべて (第4版), 2014 ; pp308-320, 株式会社メディカルビュー.
- 5) 横堀将司, 横田裕行 : [分担] 急性頭蓋内損傷. 脳神経外科周術期管理のすべて (第4版), 2014 ; pp321-337, 株式会社メディカルビュー.
- 6) 横堀将司, 横田裕行 : [分担] 広範性(びまん性)脳損傷. 脳神経外科周術期管理のすべて (第4版), 2014 ; pp344-348, 株式会社メディカルビュー.
- 7) 横堀将司, 横田裕行 : [共著] 骨折, 髄液漏, 顔面損傷. 脳神経外科周術期管理のすべて (第4版), 2014 ; pp349-360, 株式会社メディカルビュー.
- 8) 荒木 尚, 横田裕行, 森田明夫¹⁾ (1) 日本医科大学脳神経外科) : [分担] 小児の頭部外傷. 脳神経外科周術期管理のすべて (第4版), 2014 ; pp361-377, 株式会社メディカルビュー.
- 9) 高山泰弘, 横田裕行, 小関一英¹⁾ (1) 平成帝京大学健康メディカル学部) : [分担] 基礎疾患の治療と補充療法. 救急・集中治療 : 徹底ガイド DICのすべて2014-15, 2014 ; pp873-881, 総合医学社.
- 10) 横田裕行 : [分担] 救急医療の現状と課題 : 特に高齢者救急医療を中心として. 救急医療達人に学ぶ! vol.2, 2014 ; pp3-29, メディカ出版.
- 11) 松本 尚, 横田裕行 : [分担] 頭部外傷. 消化器病診療第2版 ([監修] 一般財団法人 日本消化器病学会 【編集】「消化器病診断(第2版)」編集委員会), 2014 ; pp267-270, 医学書院.
- 12) 横田裕行 : [分担] 脳死 (脳死判定基準). 神経内科研修ノート, 2015 ; pp627-631, 診断と治療社.
- 13) 金 史英, 横田裕行 : [分担] 止血薬. Pocket Drugs 2015 ((監修) 福井次矢 (編集) 小松康宏, 渡邊裕司), 2015 ; pp947-948, 医学書院.
- 14) Yokobori S, Hosein K¹⁾, Gajavelli S¹⁾, Zhang S²⁾, Wang K²⁾, Bullock R¹⁾, Dietrich D¹⁾ (1) University of Miami Miller School of Medicine, Miami FL USA., 2) University of Florida, FL USA.) : [共著] Chapter 11. Biomarkers in Spinal Cord Injury. Biomarkers of Brain Injury and Neurological Disorders (Zhiqun Zhang, Firas Kobeissy, Kevin K.W. Wang), 2014 ; pp340-354, CRC Press.
- 15) 荒木 尚 : [共著] 2 損傷部位別の治療戦略 ①頭部外傷治療戦略. 外傷専門診療ガイドライン JETEC (監修 : 一般社団法人日本外傷学会 編集 : 日本外傷学会外傷専門診療ガイドライン編集委員会), 2014 ; pp32-42, へるす出版.
- 16) 荒木 尚 : [分担] 3 外傷患者における集中治療管理 ③頭蓋内圧管理. 外傷専門診療ガイドライン JETEC (監修 : 一般社団法人日本外傷学会 編集 : 日本外傷学会外傷専門診療ガイドライン編集委員会), 2014 ; pp294-302, へるす出版.
- 17) 荒木 尚 : [翻訳主幹] 赤ちゃんと子どもの応急処置マニュアル. 赤ちゃんと子どもの応急処置マニュアル (原書第5版) ([監訳] 横

田裕行〔翻訳主幹〕上田育也, 荒木 尚), 2014; 南江堂.

18) 宮内雅人: [分担] 救急外来における各種モニタリング装置の使用法. 今日の治療指針 (山口 徹), 2015; pp114-115, 医学書院.

学会発表

(1) 会長講演:

1) 横田裕行: 重症頭部外傷の評価と治療: その不思議な病態への挑戦. 日本外傷学会総会・学術集会 (第28回) (東京), 2014. 6.

(2) 特別講演:

1) 荒木 尚: 小児の脳死: 重篤な意識障害の子どもたちを支える脳死学の在り方を求めて. 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会 (第27回) (東京), 2014. 6.

2) 横田裕行: 病院前から始まる脳卒中治療. 福岡脳卒中救急カンファレンス (第9回) (福岡), 2014. 4.

3) 横田裕行: 脳神経救急における脳死判定の意義. 徳島臓器移植研究会 (第13回) (徳島), 2014. 6.

4) 横田裕行: 末期患者・脳死患者の延命治療と看取り: 高齢者救急医療の現場から. 烏山在宅医療連携塾 (第3回) (東京), 2014. 10.

5) 横田裕行: 円滑な脳死下臓器提供に向けて. 大阪府移植医療セミナー (第6回) (大阪), 2014. 11.

6) 松本 尚: 重症体幹部外傷診療のためのシステム構築と治療成績. 日本医科大学医学会総会 (第82回) (東京), 2014. 9.

(3) 招待講演:

1) Yokobori S: Recent progress and prospects in TBI patient care. International Congress of Emergency Medicine (ICEM) 2014 (Hong Kong), 2014. 6.

2) 荒木 尚: 小児頭部外傷の諸問題. 平成26年度「東京都子ども救命センター」地域連携会議及び研修会 (東京), 2014. 9.

3) 荒木 尚: 小児頭部外傷の診断と治療. 豊島区医師会小児初期救急出動医・豊島区小児科医会合同講演会 (東京), 2014. 12.

4) 荒木 尚: Abusive Head Trauma (AHT) の病態と治療方針を探る. 宮城頭部外傷研究会 (第14回) (仙台), 2015. 2.

(4) 教育講演:

1) 横田裕行: 救急隊の感染防止対策について. 東京消防庁本部救急研究会 (東京), 2015. 2.

2) 荒木 尚, 横田裕行: 小児の脳死判定と臓器提供における諸問題. 関東神経生理検査技術研究会日曜講習会 (第50回) (東京), 2014. 6.

(5) シンポジウム:

1) 横堀将司¹⁾, 山口昌紘¹⁾, 五十嵐豊¹⁾, 亦野文宏¹⁾, 井上泰豪^{1,2)}, 恩田秀賢¹⁾, 桑本健太郎¹⁾, 荒木 尚¹⁾, 布施 明¹⁾, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター, 2) 日本医科大学脳神経外科): わが国におけるスポーツ関連頭部外傷の特徴: 日本外傷データベース (JTDB) から検討. 日本脳神経外科救急学会 (第20回) (東京), 2015. 1.

2) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明, 横堀将司, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 安武正弘¹⁾, 川井 真, 須崎 真, 森田明夫²⁾ (1) 日本医科大学付属病院総合診療センター, 2) 日本医科大学脳神経外科): スポーツに関連した小児軽傷頭部外傷の特徴と管理. 日本脳神経外科救急学会 (第20回) (東京), 2015. 1.

3) 横堀将司, Gajavelli S¹⁾, Bullock R¹⁾, 山口昌紘, 五十嵐豊, 橋詰哲広, 井上泰豪, 恩田秀賢, 布施 明, 横田裕行 (1) Department of Neurosurgery, University of Miami Miller School of Medicine): 重症頭部外傷における脳蘇生の有効性と限界: 基礎研究からみた急性期治療の新しい方向性. 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会 (第27回) (東京), 2014. 6.

4) 鈴木健介¹⁾, 久野将宗¹⁾, 畠本恭子¹⁾, 二宮宣文¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター): 病院に所属する救急救命士の役割と機能. 日本臨床脳神経外科学会 (第17回) (東京), 2014. 7.

5) 横田裕行: 救命救急医療における脳死患者への対応: セミナー開催の経験から. 日本臨床脳神経外科学会 (第17回) (東京), 2014. 7.

6) 松本 学^{1,2)}, 岩瀬史朗¹⁾, 井上潤一¹⁾, 小林辰輔¹⁾, 宮崎善史¹⁾, 大嶽康介¹⁾, 加藤頼子¹⁾, 池田督司¹⁾, 大下大輔¹⁾, 横田裕行²⁾ (1) 山梨県立中央病院救命救急センター, 2) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター): 救急・集中治療領域における Non-Convulsive Status Epileptics. 日本神経救急学会学術集会 (第28回) (熱海), 2014. 7.

7) 横田裕行: 臓器提供施設からの課題と対策. 日本移植学会総会 (第50回) (東京), 2014. 9.

8) 五十嵐豊, 賀 亮, 萩原 純, 石井浩統, 片桐美和, 横堀将司, 増野智彦, 宮内雅人, 布施 明, 横田裕行: 東京都心部におけるドクターカーによる外傷診療の展望. 日本外傷学会総会・学術集会 (第28回) (東京), 2014. 6.

9) 松本 学^{1,3)}, 岩瀬史朗¹⁾, 井上潤一¹⁾, 小林辰輔¹⁾, 宮崎善史¹⁾, 大嶽康介¹⁾, 木下大輔¹⁾, 岩瀬弘明^{1,2)}, 加藤頼子¹⁾, 池田督司¹⁾, 横田裕行³⁾ (1) 山梨県立中央病院救命救急センター, 2) 山梨県立中央病院整形外科, 3) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター): 病院前医師派遣で可能となる緊急輸血早期判定. 日本外傷学会総会・学術集会 (第28回) (東京), 2014. 6.

10) 益子一樹¹⁾, 服部 陽¹⁾, 平林篤志¹⁾, 近田裕介¹⁾, 安松比呂志¹⁾, 三木隆久¹⁾, 本村友一¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 林田和之¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): フィールドから始める外傷蘇生の Maximum: Resuscitative Field Thoracotomy (RFT). 日本外傷学会総会・学術集会 (第28回) (東京), 2014. 6.

- 11) 金 史英, 増野智彦, 横堀将司, 宫内雅人, 新井正徳, 横田裕行: Trauma pan scan は first line か. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 12) 田邊晴山¹⁾, 横田裕行, 野口 宏²⁾ (1) 救急救命東京研修所, 2) 愛知医科大学): 救急救命士が特定行為を実施する際のオンラインメ
ディカルコントロールの意義について. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 13) 横堀将司, Gajavelli S¹⁾, Bullock R¹⁾, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 橋詰哲広, 白銀一貴, 井上泰豪, 恩田秀賢, 増野智彦, 布
施 明, 横田裕行 (1) Department of Neurosurgery, University of Miami Miller School of Medicine): 重症頭部外傷における急性期
治療戦略の確立: ベッドからラボ, ラボからベッドへ. 日本脳神経外科学会・学術総会 (第 73 回) (東京), 2014. 10.
- 14) 横堀将司, 末廣栄一, 黒田泰弘, 小畑仁司, 河北賢哉, 小田泰崇, ハツ繁寛, 河井信行, 増野智彦, 横田裕行: HOPES-JAPAN
Trial: 急性硬膜下血腫に対する術前早期導入脳低温療法の有効性と展望. 日本脳低温療法学会 (第 17 回) (静岡), 2014. 8.
- 15) 横田裕行, 横堀将司, 布施 明, 小井土雄一¹⁾, 近藤久禎¹⁾ (1) 国立病院機構災害医療センター): スマトラ沖地震津波災害から学ぶ
もの: JDR スリランカ国医療支援の経験から. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第 20 回) (東京), 2015. 2.
- 16) 村田智洋, 久保田麻沙美, 横堀将司, 山口昌紘, 五十嵐豊, 井上泰豪, 亦野文宏¹⁾, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 荒木 尚, 布施 明,
森田明夫¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学付属病院脳神経外科): スポーツ関連頭部外傷の特徴: 日本外傷データベースの解析から. 日
本脳神経外傷学会 (第 38 回) (徳島), 2015. 3.
- 17) 金子純也¹⁾, 谷 将星²⁾, 佐藤 慎³⁾, 北橋章子¹⁾, 石之神小織¹⁾, 桑本健太郎, 畝本恭子¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学多摩永山病院
救命救急センター, 2) 会津中央病院救命救急センター, 3) 国立病院機構災害医療センター): 当救命センターにおける頭部外傷の急
性期戦略 急性期凝固障害への介入と穿頭術の積極的活用について. 日本脳神経外傷学会 (第 38 回) (徳島), 2015. 3.
- 18) 中江竜太¹⁾, 高山泰広, 桑本健太郎, 直江康孝¹⁾, 佐藤秀貴, 横田裕行 (1) 川口市立医療センター救命救急センター): Talk and De-
teriorate の経過を呈した頭部外傷患者における D-dimer の検討. 日本脳神経外傷学会 (第 38 回) (徳島), 2015. 3.
- 19) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明, 横堀将司, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 安武正弘¹⁾, 川井 真¹⁾, 伊藤保彦²⁾, 森田明夫³⁾ (1) 日本医科
大学総合診療科, 2) 日本医科大学小児科, 3) 日本医科大学脳神経外科): 頭蓋内出血を有する小児軽症頭部外傷の診断治療と長期予
後. 日本脳神経外傷学会 (第 38 回) (徳島), 2015. 3.
- 20) 横堀将司¹⁾, 村田智洋¹⁾, 久保田麻沙美¹⁾, 山口昌紘¹⁾, 五十嵐豊¹⁾, 井上泰豪¹⁾, 亦野文宏^{1, 2)}, 恩田秀賢¹⁾, 桑本健太郎¹⁾, 荒木 尚¹⁾,
布施 明¹⁾, 森田明夫²⁾, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院救命救急科, 2) 日本医科大学付属病院脳神経外科): 我が国における
高齢者頭部外傷の特徴 日本外傷データベースの検討から. 日本脳神経外傷学会 (第 38 回) (徳島), 2015. 3.
- 21) 金 史英, 松居亮平, 吉田吉太郎, 石井浩統, 萩原 純, 片桐美和, 増野智彦, 新井正徳, 横田裕行: 当施設における腹腔内出血コ
ントロールの治療戦略と成績. 日本腹部救急医学会総会 (第 51 回) (京都), 2015. 3.
- 22) 石井浩統, 恩田秀賢, 吉野雄大, 池田慎平, 笠井華子, 白銀一貴, 片桐美和, 横田裕行: 日常診療における診療チームのパフォー
マンス均一化の試み. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 23) 松本 学^{1, 2)}, 岩瀬史朗¹⁾, 井上潤一¹⁾, 小林辰輔¹⁾, 宮崎善史¹⁾, 大嶽康介¹⁾, 加藤頼子¹⁾, 池田督司¹⁾, 木下大輔¹⁾, 岩瀬弘明¹⁾, 横
田裕行²⁾ (1) 山梨県立中央病院救命救急センター, 2) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター): 病院前医師派遣で可能となる緊
急輸血早期判定スコアリングの作成. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 24) 齋藤伸行¹⁾, 本村友一¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): 重症外
傷患者に対する大量輸血プロトコールの遵守は, 凝固能を改善するか?. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014.
10.
- 25) 荒木 尚^{1, 2)}, 横田裕行¹⁾, 布施 明¹⁾, 横堀将司¹⁾, 恩田秀賢¹⁾, 川井 真^{1, 2)}, 安武正弘²⁾, 須崎 真²⁾, 森田明夫³⁾, 伊藤保彦⁴⁾ (1)
日本医科大学付属病院高度救命救急センター, 2) 日本医科大学付属病院総合診療センター, 3) 日本医科大学脳神経外科, 4) 日本医科
大学小児科): 頭蓋内出血を有する小児軽症頭部外傷の診断治療と長期予後. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡),
2014. 10.
- 26) 苛原隆之, 佐藤格夫¹⁾, 井上和生²⁾, 石原徳吾³⁾, 小池 薫¹⁾, 伏木 亨²⁾, 横田裕行 (1) 京都大学初期診療・救急医学, 2) 京都大学
農学研究科栄養化学, 3) 椋山学園大学生生活化学部): マウス LPS 誘発敗血症モデルにおけるエネルギー基質代謝動態の変化. 日本救
急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 27) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明: 小児の脳死と臓器提供. 日本小児科学会 (第 117 回) (名古屋), 2014. 4.
- 28) 荒木 尚: 虐待による頭部外傷 (Abusive Head Trauma) の病態と治療方針. 日本小児救急医学会 (第 28 回) (横浜), 2014. 6.
- 29) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明, 増野智彦, 金 史英, 川井 真¹⁾, 安武正弘¹⁾, 森田明夫²⁾ (1) 日本医科大学総合診療センター, 2)
日本医科大学脳神経外科): Characteristics and management of sports-related mild traumatic brain injury with intracranial hemor-
rhagic lesion in children. 日本脳神経外科学会・学術総会 (第 73 回) (東京), 2014. 10.
- 30) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明, 横堀将司, 恩田秀賢, 高山泰広: 小児重症頭部外傷における神経集中治療の選択と減圧開頭術の適
応. 日本集中治療医学会学術集会 (第 42 回) (東京), 2015. 2.
- 31) 渡邊頭弘, 田上 隆, 横堀将司, 磯谷栄二¹⁾, 横田裕行 (1) 東京女子医科大学東医療センター救急医療科救命救急センター): くも膜

下出血周術期における循環を中心とした指標への評価. 日本脳卒中学会総会 (第 40 回) (広島市), 2015. 3.

(6) パネルディスカッション:

- 1) 布施 明, 五十嵐豊, 横堀将司, 横田裕行, 久野将宗¹⁾, 小笠原智子²⁾, 小井土雄一²⁾, 織田 順³⁾, 大友康裕⁴⁾ (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, 2) 独立行政法人国立病院機構災害医療センター, 3) 東京医科大学病院救命救急センター, 4) 東京医科歯科大学医学部附属病院救命救急センター): 東京ドクターカー協議会の設立とその経緯. 日本病院前救急診療医学会総会・学術集会 (第 9 回) (東京), 2014. 12.
- 2) 齋藤伸行¹⁾, 八木貴典¹⁾, 本村友一¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): 重症外傷患者に対する大量輸血プロトコルの遵守は, 早期死亡に影響したか?. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 3) 宮内雅人, 石井浩統, 増野智彦, 金 史英, 横田裕行: 当院における 80 歳以上の非静脈瘤性上部消化管出血症例についての検討. 日本腹部救急医学会総会 (第 51 回) (京都), 2015. 3.
- 4) 服部 陽¹⁾, 柴田あみ¹⁾, 安松比呂志¹⁾, 阪本太吾¹⁾, 中山彦彦¹⁾, 本村友一¹⁾, 益子一樹¹⁾, 林田和之¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): 重症体幹部外傷救命のためのドクターヘリによる症例集約化の重要性. 日本腹部救急医学会総会 (第 51 回) (京都), 2015. 3.
- 5) 横堀将司^{1,7)}, 末廣栄一^{2,7)}, 黒田泰弘^{3,7)}, 小畑仁司^{4,7)}, 河北賢哉^{3,7)}, 小田泰 萗 ;^{2,7)}, ハツ繁寛^{5,7)}, 田中佐智子^{6,7)}, 河井信行^{3,7)}, 増野智彦^{1,7)}, 横田裕行^{1,7)} (1) 日本医科大学救急医学, 2) 山口大学脳外科・救急医学, 3) 香川大学脳外科・救急医学, 4) 大阪府三島救命救急センター, 5) 国立病院災害医療センター, 6) 京都大学大学院社会健康医学系, 7) HOPES Investigators): HOPES-JAPAN Trial: 術前早期導入脳低温療法の有効性と再生医療への展望. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 6) 佐藤 章^{1, 2)}, 横田裕行²⁾, 木下順弘²⁾, 有賀 徹²⁾ (1) 医療法人社団美心会黒沢病院脳卒中センター・救急部, 2) 日本救急医学会: 救急医療における終末期医療のあり方に関する委員会): 救急・集中医療における終末期医療のあり方に関する 3 学会合同提言に至るまで: 倫理的対応と医師教育の意義. 日本集中治療医学会学術集会 (第 42 回) (東京), 2015. 2.
- 7) 横堀将司, Ross B¹⁾, Shyam G¹⁾, 山口昌紘, 五十嵐豊, 井上泰豪, 恩田秀賢, 増野智彦, 布施 明, 横田裕行 (1) マイアミ大学医学部脳神経外科): 重症頭部外傷における急性期治療戦略の確立: 基礎研究から臨床研究へ. 日本集中治療医学会学術集会 (第 42 回) (東京), 2015. 2.

(7) セミナー:

- 1) 荒木 尚: 小児外傷の特徴と諸問題. 医研セミナー (大阪), 2014. 9.
- 2) 荒木 尚: 小児外傷の特徴と諸問題. 医研セミナー (名古屋), 2014. 12.
- 3) 荒木 尚: 頭部外傷診療の心得. Trauma Conference (第 2 回) (東京), 2014. 10.
- 4) 荒木 尚: 小児頭部外傷の診断と治療. 日本脳神経外傷学会 (第 38 回) 教育セミナー (徳島), 2015. 3.

(8) ワークショップ:

- 1) 桑本健太郎¹⁾, 金子純也¹⁾, 高山恭広, 佐藤秀貴²⁾, 諸江雄太¹⁾, 小柳正雄¹⁾, 福田令雄¹⁾, 盤井祐輔¹⁾, 久野将宗¹⁾, 畝本恭子¹⁾, 谷将星¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター, 2) 東京臨海病院救急科): 重症頭部外傷における線索系を指標とした戦略的 HITT の有効性. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 2) 林田和之¹⁾, 松本 尚¹⁾, 八木貴典¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 益子一樹¹⁾, 三木隆久¹⁾, 安松比呂志¹⁾, 本村友一¹⁾, 服部 陽¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): グメージコントロール手術: open abdomen・創部管理方の変遷と今後の試み. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 3) 田上 隆^{1,2)}, 康永秀生²⁾, 松居亮平¹⁾, 石井浩統¹⁾, 萩原 純¹⁾, 増野智彦¹⁾, 金 史英¹⁾, 新井正徳¹⁾, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター, 2) 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学): 鈍的大動脈損傷の治療比較: open repair endovascular. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 4) 金 史英, 萩原 純, 石井浩統, 恩田秀賢, 横堀将司, 塚本剛志, 増野智彦, 新井正徳, 布施 明, 横田裕行: 外傷蘇生の緊急手術時のチーム医療: 当院における取り組み. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 5) 横堀将司, 末廣栄一, 黒田泰弘, 小畑仁司, 河北賢哉, 小田泰崇, ハツ繁寛, 田中佐智子, 河井信行, 増野智彦, 横田裕行: HOPES-JAPAN Trial: 術前早期導入脳低温療法の有効性と再生医療への展望. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 6) 布施 明, 若井聡智¹⁾, 大西光雄²⁾, 後藤浩也³⁾, 奥村 徹⁴⁾, 齋藤大蔵⁵⁾, 横田裕行 (1) 国立病院機構大阪医療センター救命救急センター, 2) 大阪大学医学部附属病院救命救急センター, 3) 自衛隊中央病院, 4) 警視庁警務部理事官, 5) 防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門): TC3 は東京オリンピック・パラリンピックに備えたテロ対応に必須である. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第 20 回) (東京), 2015. 2.
- 7) 布施 明, 賀 亮, 五十嵐豊, 萩原 純, 片桐美和, 石井浩統, 横堀将司, 増野智彦, 宮内雅人, 横田裕行: 災害医療を効果的に

行うための新しい情報収集・分析手法についての検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.

(9) ポスター:

- 1) 中江竜太¹⁾, 高山泰広, 桑本健太郎, 直江康孝¹⁾, 佐藤秀貴, 横田裕行 (1) 川口市立医療センター救命救急センター): 頭部外傷に伴う凝固・線溶系障害の検討. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 2) 佐藤 慎¹⁾, 中江竜太¹⁾, 金子純也²⁾, 松本 学²⁾, 直江康孝¹⁾, 横田裕行²⁾, 兵頭明夫³⁾ (1) 川口市立医療センター救命救急センター, 2) 日本医科大学救急医学, 3) 独協医科大学越谷病院脳神経外科): 頸動脈海綿静脈洞瘻を認めた頭部顔面外傷患者の 3 例. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 3) 須崎 真¹⁾, 荒木 尚^{1,2)}, 小原俊郎¹⁾, 小野寺直子¹⁾, 兵働英也¹⁾, 宮内雅人^{1,2)}, 増野智彦²⁾, 川井 真^{1,2)}, 横田裕行²⁾, 安武正弘¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院総合診療センター, 2) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター): 総合診療外来における小児外傷の特徴と問題点. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 4) 近田祐介¹⁾, 後藤美咲¹⁾, 安松比呂志¹⁾, 平林篤志¹⁾, 本村友一¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 益子一樹¹⁾, 林田和之¹⁾, 八木貴典¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 原義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 益子邦洋¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): 高度軟部組織損傷を伴う小児脛骨開放骨折の 1 例. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 5) 畝本恭子¹⁾, 谷 将星¹⁾, 盤井佑輔¹⁾, 金子純也¹⁾, 福田令雄¹⁾, 北橋章子¹⁾, 小柳正雄¹⁾, 桑本健太郎¹⁾, 諸江雄太¹⁾, 久野将宗¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター): 当救命救急センターにおける後期高齢者外傷の現況. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 6) 谷 将星¹⁾, 金子純也²⁾, 北橋章子²⁾, 石之神小織²⁾, 桑本健太郎, 畝本恭子²⁾ (1) 会津中央病院救命救急センター, 2) 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター): Prehospital care と迅速な穿頭術が有効であった墜落による切迫脳ヘルニアの 1 例. 日本脳神経外傷学会 (第 38 回) (徳島), 2015. 3.
- 7) 藤木 悠¹⁾, 中江竜太²⁾, 佐藤 慎, 金子純也, 松本 学, 直江康孝²⁾, 横田裕行, 兵藤明夫³⁾, 小林士郎¹⁾, 森田明夫⁴⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院脳神経外科, 2) 川口市立医療センター救命救急センター, 3) 独協医科大学越谷病院脳神経外科, 4) 日本医科大学付属病院脳神経外科): 頭部顔面外傷患者に合併した内頸動脈海綿静脈洞瘻の 3 例. 日本脳神経外傷学会 (第 38 回) (徳島), 2015. 3.
- 8) 若栗大朗¹⁾, 荒木 尚^{1,2)}, 須崎 真¹⁾, 小野寺直子¹⁾, 兵働英也¹⁾, 小原俊彦¹⁾, 川井 真^{1,2)}, 横田裕行²⁾, 安武正弘¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院総合診療センター, 2) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター): “Shaken elderly?” syndrome の 2 症例. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 9) 賀 亮, 萩原 純, 松居亮平, 石井浩統, 片桐美和, 増野智彦, 金 史英, 宮内雅人, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行: 重症急性膵炎に対する膵局所動注法施行後に上腸間膜動脈血栓症を合併した 2 例. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 10) 池田慎平, 吉野雄大, 笠井華子, 石井浩統, 片桐美和, 恩田秀賢, 金 史英, 新井正徳, 増野智彦, 横田裕行: 血管内治療を外科治療に併用して良好な転帰を得た上腸間膜静脈血栓症の 1 例. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 11) 井上泰豪, 萩原 純, 富永直樹, 山口昌紘, 小原良規, 横堀将司, 金 史英, 増野智彦, 小林克也¹⁾, 竹田晋浩¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学集中治療室): 多発外傷の治療戦略に ECMO を導入し, 有用であった 1 例. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 12) 柴田あみ¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院): カテーテル関連血流感染症後に発症した非典型容血性尿毒症症候群. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 13) Arai M, Kushimoto S, Kim S, Masuno T, Hagiwara J, Ishii H, Katagiri M, Matsui R, He L, Tsujii A, Yokota H: A novel technique for managing open abdomen by combined use of mesh traction and anterior rectus abdominis sheath turnover flap: a report of two cases. 2nd Joint Scientific Congress of KSACS and JSACS (Korea Soul), 2014. 4.
- 14) 吉田文哉, 松本典子, 中尾淳一, 萩原 純, 小原良規, 塚本剛志, 川井 真, 横田裕行: 肘関節後方脱臼に上腕動脈損傷を合併した 1 症例. 日本医科大学医学会総会 (第 82 回) (東京), 2014. 9.
- 15) 吉野雄大, 池田慎平, 笠井華子, 松居亮平, 吉田吉太郎, 石井浩統, 萩原 純, 坂本和嘉子, 片桐美和, 増野智彦, 金 史英, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行: 門脈血栓症に対し IVR, 抗凝固療法, 手術を行った 4 例. 日本医科大学医学会総会 (第 82 回) (東京), 2014. 9.
- 16) 川瀬 創, 萩原 純, 片桐美和, 石井浩統, 金 史英, 横堀将司, 増野智彦, 横田裕行: 腹腔動脈の血栓塞栓を起こすも, 亜急性期に壊死臓器切除を行い救命し得た 1 例. 日本医科大学医学会総会 (第 82 回) (東京), 2014. 9.

(10) 海外留学生講演:

- 1) 横堀将司: 頭部外傷後脳蘇生における治療戦略の確立. 日本医科大学医学会総会 (第 82 回) (東京), 2014. 9.

(11) 一般講演:

- 1) 杉中宏司¹⁾, 平林篤志¹⁾, 瀬尾卓生¹⁾, 阪本太吾¹⁾, 岡田一宏¹⁾, 中山文彦¹⁾, 本村友一¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 益子一樹¹⁾, 林田和之¹⁾, 八木貴典¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): フライトドクターが行う

- advanced field triage についての検討. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
- 2) 萩原 純, 金 史英, 井上泰豪, 石井浩統, 横堀将司, 増野智彦, 宮内雅人, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行: 著明な高トリグリセリド血症を伴った重症急性肺炎の 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
 - 3) 吉田文哉, 廣瀬和俊, 松本典子, 松居亮平, 五十嵐豊, 吉田良太郎, 桑本健太郎, 塚本剛志, 辻井厚子, 増野智彦, 新井正徳, 横田裕行: 気腫性腎盂炎に対して高気圧酸素療法を施行した 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
 - 4) 柴田あみ¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): *Klebsiella pneumoniae* による敗血症性血栓塞栓症候群の 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
 - 5) 井上泰豪, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 白銀一貴, 亦野文宏, 恩田秀賢, 横堀将司, 桑本健太郎, 荒木 尚, 布施 明, 横田裕行: 両側瞳孔散大し, 中脳出血とびまん性脳腫脹を呈していたが, 著明な神経学的改善を認め, 復学に至った重症小児頭部外傷の 1 症例. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
 - 6) 池田慎平, 吉野雄大, 笠井華子, 松居亮平, 吉田良太郎, 萩原 純, 石井浩統, 片桐美和, 増野智彦, 金 史英, 新井正徳, 横田裕行, 坪 宏^{一)} (¹⁾ 日本医科大学付属病院循環器内科): 外傷性大動脈損傷に対して保存的治療を選択した 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
 - 7) 松本 学^{1, 2)}, 岩瀬史朗¹⁾, 井上潤一¹⁾, 小林辰輔¹⁾, 宮崎善史¹⁾, 大嶽康介¹⁾, 加藤頼子¹⁾, 池田督司¹⁾, 木下大輔¹⁾, 横田裕行²⁾ (¹⁾ 山梨県立中央病院救命救急センター, ²⁾ 日本医科大学付属病院高度救命救急センター): 末梢血管損傷に対するステント治療. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
 - 8) 岡田一宏¹⁾, 八木貴典¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): 外傷における急性呼吸不全に対する Venovenous extracorporeal membrane oxygenation (VV-ECMO) を導入した 5 例の臨床的検討. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
 - 9) 寺岡晋太郎, 恩田秀賢, 吉野雄大, 池田慎平, 笠井華子, 白銀一貴, 石井浩統, 坂本和嘉子, 片桐美和, 宮内雅人, 布施 明, 横田裕行: 経過中にたこぼし型心筋症を発症した熱中症の 1 例. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
 - 10) 木村徳宏, 井上泰豪, 金谷貴大, 中尾淳一, 萩原 純, 小原良規, 横堀将司, 金 史英, 増野智彦, 横田裕行: *Edwardsiella tarda* による重症軟部組織感染症から敗血症性ショックを呈した 1 症例. エンドトキシン血症救命治療研究会 (第 19 回) (仙台), 2015. 1.
 - 11) 荒木 尚, 横田裕行, 市川光太郎¹⁾ (¹⁾ 日本小児救急医学会脳死問題検討委員会): 小児医療従事者に対する脳死判定教育の試み: 小児救急における脳死患者の対応セミナー報告. 日本脳神経外科救急学会 (第 20 回) (東京), 2015. 1.
 - 12) 畝本恭子¹⁾, 谷 将星¹⁾, 金子純也¹⁾, 石之神小織¹⁾, 桑本健太郎, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター): 当施設における高齢者頭部外傷の予後に係る Talk and deteriorate の影響. 日本脳神経外科救急学会 (第 20 回) (東京), 2015. 1.
 - 13) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明, 横堀将司, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 安武正弘¹⁾, 川井 真¹⁾, 須崎 真¹⁾, 森田明夫²⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院総合診療センター, ²⁾ 日本医科大学脳神経外科): 粗体操に関連した小児脳神経外傷の 6 例. 日本脳神経外科救急学会 (第 20 回) (東京), 2015. 1.
 - 14) 藤木 悠, 恩田秀賢, 山口昌紘, 五十嵐豊, 橋詰哲広, 横堀将司, 布施 明, 横田裕行: 心肺停止蘇生後患者の生存率における聴性脳幹反応による検討. 日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会 (第 27 回) (東京), 2014. 6.
 - 15) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明, 森田明夫¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学脳神経外科): 他臓器損傷を合併した小児スポーツ関連頭部外傷の検討. 日本小児神経外科学会 (第 42 回) (仙台), 2014. 5.
 - 16) 荒木 尚¹⁾, 市川光太郎¹⁾ (¹⁾ 日本小児救急医学会脳死問題検討委員会): 小児脳死下臓器提供に関する意識調査: セミナーアンケート結果より. 日本小児神経外科学会 (第 42 回) (仙台), 2014. 5.
 - 17) 後藤浩也¹⁾, 布施 明, 横田裕行, 若井聡智²⁾, 大西光雄³⁾, 奥村 徹⁴⁾, 齋藤大蔵⁵⁾ (¹⁾ 自衛隊中央病院, ²⁾ 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター救命救急センター, ³⁾ 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター, ⁴⁾ 警視庁警務部理事官, ⁵⁾ 防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門): テロ発生時のヘリによる緊急患者搬送の要請. 日本病院前救急診療医学会総会・学術集会 (第 9 回) (東京), 2014. 12.
 - 18) 布施 明, 若井聡智¹⁾, 大西光雄²⁾, 後藤浩也³⁾, 奥村 徹⁴⁾, 齋藤大蔵⁵⁾, 横田裕行 (¹⁾ 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター救命救急センター, ²⁾ 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター, ³⁾ 自衛隊中央病院, ⁴⁾ 警視庁警務部理事官, ⁵⁾ 防衛医科大学校防衛医学研究センター外傷研究部門): Tactical Medicine は病院前救急診療の一分野である. 日本病院前救急診療医学会総会・学術集会 (第 9 回) (東京), 2014. 12.
 - 19) 増野智彦, 吉野美緒¹⁾, 重村朋子, 稲本絵里²⁾, 高田治樹³⁾, 市村 帆⁴⁾, 松井 豊³⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学病院小児科, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院, ³⁾ 筑波大学大学院人間総合科学研究科, ⁴⁾ 目白大学): 病院前救急診療を行う医師の心理状態とその特性. 日本病院前救急診療医学会総会・学術集会 (第 9 回) (東京), 2014. 12.
 - 20) 平林篤志¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター): 病院前の不安定型骨盤輪骨折の診断の妥当性について. 日本航空医療学会総会 (第 21 回) (大阪), 2014. 11.

- 21) 宮内雅人, 吉田直人¹⁾, 林田眞喜子²⁾, 大野曜吉²⁾, 増野智彦, 横田裕行 (¹⁾ 足利赤十字病院救命救急センター, ²⁾ 日本医科大学法医学教室) : 急性薬物・毒物中毒に対する内視鏡を利用した入院時胃内評価と消化管除染 “rescue endoscopy” の可能性. 日本中毒学会総会・学術集会 (第 36 回) (東京), 2014. 7.
- 22) 池田慎平, 恩田秀賢, 藤木 悠, 朝日林太郎, 石井浩統, 片桐美和, 増野智彦, 横田裕行 : 高圧酸素療法を行い転帰が良好であった軟部組織感染症の 2 例. 日本臨床高気圧酸素・潜水医学会 (第 11 回)・日本高気圧酸素医療技術学会学術集会・総会 (第 5 回) (静岡), 2014. 7.
- 23) 横堀将司^{1, 2)}, Ross B³⁾, 藤木 悠²⁾, 山口昌紘²⁾, 五十嵐豊²⁾, 橋詰哲広²⁾, 恩田秀賢²⁾, 布施 明^{1, 2)}, 横田裕行^{1, 2)} (¹⁾ 日本医科大学大学院医学研究科救急医学分野, ²⁾ 日本医科大学付属病院高度救命救急センター, ³⁾ マイアミ大学医学部脳神経外科) : 頭部外傷・神経集中治療におけるバイオマーカーの有用性と今後の展望. 日本脳神経外科コンgres総会 (第 34 回) (大阪), 2014. 5.
- 24) 谷 将星¹⁾, 畝本恭子¹⁾, 富永直樹¹⁾, 磐井佑輔¹⁾, 金子純也¹⁾, 北橋章子¹⁾, 桑本健太郎¹⁾, 久野将宗¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学多摩永山病院救命救急センター) : 基礎疾患のない劇症型肺炎球菌性髄膜炎の 1 例. 日本神経救急学会学術集会 (第 28 回) (熱海), 2014. 7.
- 25) 高山泰宏¹⁾, 横田裕行, 佐藤秀貴²⁾ (¹⁾ 花と森の東京病院救急科・脳神経外科, ²⁾ 東京臨海病院救急部) : 熱中症の症状でマスクされた虚血性脳血管障害について. 日本神経救急学会学術集会 (第 28 回) (熱海), 2014. 7.
- 26) 宮内雅人, 石井浩統, 増野智彦, 新井正徳, 金 史英, 横田裕行 : 当院における上部消化管出血に対する気管挿管症例についての検討. 日本救命医療学会総会・学術集会 (第 29 回) (東京), 2014. 9.
- 27) 直江康孝¹⁾, 小川太志¹⁾, 中江竜太¹⁾, 中野公介¹⁾, 佐藤秀貴²⁾, 高山泰宏³⁾, 横田裕行 (¹⁾ 川口市立医療センター救命救急センター, ²⁾ 東京臨海病院救急科, ³⁾ 花と緑の東京病院救急科・脳神経外科) : 頭部外傷後の Ddimer と年齢, CT 所見, 予後の関係. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 28) 松本 学^{1, 2)}, 岩瀬史朗¹⁾, 井上潤一¹⁾, 小林辰輔¹⁾, 宮崎善史¹⁾, 大嶽康介¹⁾, 木下大輔¹⁾, 岩瀬弘明^{1, 2)}, 加藤頼子¹⁾, 池田督司¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 山梨県立中央病院救命救急センター, ²⁾ 山梨県立中央病院整形外科) : Non-operative Management を中心とした鈍的腎損傷治療. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 29) 原 義明¹⁾, 八木貴典¹⁾, 林田和之¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 本村友一¹⁾, 益子一樹¹⁾, 三木隆久¹⁾, 安松比呂志¹⁾, 平林篤志¹⁾, 川井 真, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 骨盤周囲の軟部組織欠損に対する有茎大網被覆術の有用性. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 30) 荒木 尚^{1, 2)}, 横田裕行¹⁾, 布施 明¹⁾, 恩田秀賢¹⁾, 橋詰哲広¹⁾, 藤木 悠¹⁾, 山口昌紘¹⁾, 五十嵐豊¹⁾, 須崎 真²⁾, 川井 真²⁾, 安武正弘²⁾ (¹⁾ 日本医科大学救急医学, ²⁾ 日本医科大学付属病院総合診療センター) : 他臓器損傷を合併した小児スポーツ関連頭部外傷の検討. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 31) 本村友一¹⁾, 後藤美咲¹⁾, 服部 陽¹⁾, 近田裕介¹⁾, 安松比呂志¹⁾, 三木隆久¹⁾, 平林篤志¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 益子一樹¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 林田和之¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 胸腹部圧迫による外傷性窒息のメカニズム解明に向けた被験者実績. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 32) 恩田秀賢, 横堀将司, 荒木 尚, 増野智彦, 金 史英, 宮内雅人, 辻井厚子, 布施 明, 川井 真, 横田裕行 : 当施設における高齢者医療の問題点と取り組み. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 33) 宮内雅人, 新井正徳, 川井 真, 安武正弘¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学付属病院総合診療科) : 当院におけるたらい回しゼロにむけた取り組み. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 34) 坂庭弘晃¹⁾, 白田武志¹⁾, 吉田直人¹⁾, 小川理郎²⁾, 荒木 尚, 横田裕行 (¹⁾ 足利赤十字病院救命救急センター, ²⁾ 日本体育大学保健医療学部救急医療学科) : 当院における院内救急救命士による病院間搬送業務と現状. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 35) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明, 増野智彦, 新井正徳, 辻井厚子, 金 史英, 小川理郎, 横堀将司, 恩田秀賢 : 当施設における小児スポーツ関連外傷の診療経験. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 36) 稲毛俊介¹⁾, 畝本賜男¹⁾, 片山志郎¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学付属病院薬剤部) : 高度救命救急センターにおける重症部門システムを応用した薬物適正使用の取り組み. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 37) 伊澤 潤¹⁾, 伊藤伸一¹⁾, 増野智彦, 田上 隆, 横堀将司, 金 史英, 新井正徳, 辻井厚子, 布施 明, 横田裕行 (¹⁾ 東京消防庁) : 救急隊活動情報の活用 : 静脈路確保トライ数と成功率の検討. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 38) 小川理郎¹⁾, 山崎義勝²⁾, 早川勝正²⁾, 倉沼義明²⁾, 白田武志³⁾, 坂庭弘晃³⁾, 吉田直人³⁾, 荒木 尚, 横田裕行 (¹⁾ 日本体育大学保健医療学部救急医療学科, ²⁾ 足利市消防本部, ³⁾ 足利赤十字病院救命救急センター) : 病院前 CPA の心拍再開後 (ROSC) の CPCI (神経学的予後良好例) 症例の検討. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 39) Yokobori S, Suehiro E, Kuroda Y, Kobata H, Kawakita K, Oda Y, Yatsushige H, Tanaka S, Kawai N, Masuno T, Yokota H, Suzuki M, Gajavelli S, Spurlock M, Bullock R : HOPES-JAPAN Trial : The randomized multicenter controlled trial for pre-operative early-induced hypothermia and its scientific rationale. International Hypothermia Symposium (5th) (Edinburgh),

2014. 7.

- 40) Yokobori S, Kanaya T, Yamaguchi M, Igarashi U, Hashizume A, Inoue Y, Shirokane K¹⁾, Onda H, Masuno T, Fuse A, Yokota H (¹⁾ Department of Neurosurgery, Nippon Medical School) : Geriatric Traumatic Brain Injury in the Country with Highest Longevity : Lessons for the prehospital care. Asia Pacific Conference on Disaster Medicine (12th) (Tokyo), 2014. 9.
- 41) 増野智彦, 吉野美緒¹⁾, 重村朋子, 稲本絵里²⁾, 高田治樹³⁾, 市村美帆⁴⁾, 松井 豊³⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学小児科, ²⁾ 日本医科大学多摩永山病院, ³⁾ 筑波大学大学院人間総合科学研究科, ⁴⁾ 目白大学) : 病院前救急診療に伴う心的外傷ストレス軽減を目的とした事前教育の効果. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第20回) (東京), 2015. 2.
- 42) 布施 明, 市原正行¹⁾, 大西光雄¹⁾, 勝見 敦¹⁾, 北川嘉己¹⁾, 小林良三¹⁾, 高橋 功¹⁾, 中尾博之¹⁾, 肥留川賢一¹⁾, 眞瀬智彦¹⁾, 森野一真¹⁾, 山内 聡¹⁾ (¹⁾ 公益社団法人全日本病院協会 AMAT 研修ワーキンググループ) : AMAT (全日本病院協会 災害時医療支援活動班) 活動の概要. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第20回) (東京), 2015. 2.
- 43) 布施 明, 榊原庸貴¹⁾, 成田徳雄²⁾ (¹⁾ パスコ研究センター, ²⁾ 気仙沼市立病院脳神経外科) : 首都直下型地震に活用できる新しい情報収集・分析手法についての検討. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第20回) (東京), 2015. 2.
- 44) 荒木 尚, 横田裕行, 布施 明, 横堀将司, 恩田秀賢, 桑本健太郎, 安武正弘¹⁾, 川井 真¹⁾, 須崎 真¹⁾, 森田明夫²⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院総合診療センター, ²⁾ 日本医科大学脳神経外科) : 組体操 (ピラミッド構築) による小児脳神経外傷の特徴と問題. 日本脳神経外傷学会 (第38回) (徳島), 2015. 3.
- 45) 田上 隆¹⁾, 康永秀生²⁾, 宮内雅人¹⁾, 辻井厚子¹⁾, 増野智彦¹⁾, 萩原 純¹⁾, 川井 真¹⁾, 横田裕行¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院高度救命救急センター, ²⁾ 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学, ³⁾ 日本医科大学付属病院総合診療センター) : 予後熱傷指数 (PBI) の妥当性. 日本熱傷学会関東地方会 (第23回) (東京), 2015. 1.
- 46) 田山英樹¹⁾, 宮内雅人¹⁾, 川井 真¹⁾, 横田裕行¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学付属病院高度救命救急センター, ²⁾ 日本医科大学付属病院総合診療センター) : 当院における広範囲熱傷症例の現状とその治療戦略について. 日本熱傷学会関東地方会 (第23回) (東京), 2015. 1.
- 47) 青木宏信, 小川 令¹⁾, 百束比古¹⁾, 中尾淳一¹⁾, 藪野雄大, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学付属病院形成外科・美容外科) : 指間への厚め分層植皮術に陰圧閉鎖療法を用いた1例. 日本熱傷学会関東地方会 (第23回) (東京), 2015. 1.
- 48) Tanaka A¹⁾, Fuse A, Kawamata J²⁾, Kass P³⁾, Hayama S⁴⁾, Arai T⁴⁾ (¹⁾ Department of Epidemiology, University of California, Cavis, ²⁾ Fukushima Veterinary Medical Association, ³⁾ Population health and reproduction, University of California, Davis, ⁴⁾ Department of Veterinary Medicine, Nippon Veterinary and Life Science University) : The Veterinarian's Role in Disasters<Lessons Learned from the March 2011 Great East Japan Earthquakes>. Asia Pacific Conference on Disaster Medicine (12th) (Tokyo), 2014. 9.
- 49) Sakakibara T¹⁾, Fuse A, Gotoh Y²⁾ (¹⁾ R & D. PASCO Corporation, ²⁾ Oversea Department, Pasco Corporation) : Development of the method to know the damage overview using disaster survey helicopters for deploying disaster medical teams. Asia Pacific Conference on Disaster Medicine (12th) (Tokyo), 2014. 9.
- 50) 松本 学¹⁾, 岩瀬史朗¹⁾, 井上潤一¹⁾, 小林辰輔¹⁾, 宮崎善史¹⁾, 大嶽康介¹⁾, 加藤頼子¹⁾, 池田督司¹⁾, 木下大輔¹⁾, 横田裕行²⁾ (¹⁾ 山梨県立中央病院救命救急センター, ²⁾ 日本医科大学付属病院高度救命救急センター) : 院外心肺停止患者に対する体外式心肺補助使用下脳低温療法における治療脱落の予測因子. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 51) 後藤美咲¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 本村友一¹⁾, 益子一樹¹⁾, 林田和之¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 川井 真, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 環軸椎骨折は初期評価で疑えるか?. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 52) 飯田浩章¹⁾, 原 義明¹⁾, 後藤美咲¹⁾, 市川頼子¹⁾, 杉中宏司¹⁾, 平林篤志¹⁾, 瀬尾卓生¹⁾, 松本 尚¹⁾, 川井 真, 横田裕行, 齋藤伸行¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 多発外傷を合併した大腿骨骨折治療の検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 53) 原 義明¹⁾, 八木貴典¹⁾, 林田和之¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 本村友一¹⁾, 益子一樹¹⁾, 安松比呂志¹⁾, 川井 真, 松本 尚¹⁾, 横田裕行 (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 当施設における骨盤輪骨折に対する急性期治療の妥当性. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 54) 布施 明, 坂 慎弥¹⁾, 布施理美, 山口昌紘, 五十嵐豊, 荒木 尚, 金 史英, 宮内雅人, 横田裕行 (¹⁾ 株式会社プラスアルファ・コンサルティング) : 気象データから熱中症救急搬送症例数を予測する. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 55) 萩原 純, 金 史英, 石井浩統, 橋詰哲広, 塚本剛志, 横堀将司, 増野智彦, 新井正徳, 辻井厚子, 布施 明, 横田裕行 : 当施設における過去5年間の重症急性性肺炎症例の検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 56) 松居亮平, 新井正徳, 賀 亮, 吉田良太郎, 石井浩統, 萩原 純, 片桐美和, 金 史英, 増野智彦, 辻井厚子, 横田裕行 : Open Abdominal Management (OAM) 後の閉腹における mesh traction の有用性. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡),

2014. 10.

- 57) 布施 明, 榊原庸貴¹⁾, 成田徳雄²⁾, 五島幸夫³⁾, 村井信二²⁾ (1) バスコ研究センター, 2) 気仙沼市立病院脳神経外科, 3) バスコ国際統括事業部): 災害初期期における医療活動のための空撮を用いた新たな情報収集手法の検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 58) 塚本剛志, 賀 亮, 萩原 純, 石井浩統, 橋詰哲広, 横田裕行: 当センター ICU 入院患者における入院後 VTE (Venous Thromboembolism) 発生の検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 59) 布施 明, 五十嵐豊, 萩原 純, 横堀将司, 増野智彦, 横田裕行, 大西光雄¹⁾, 徳野慎一²⁾, 奥村 徹³⁾, 齋藤大蔵⁴⁾ (1) 大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター, 2) 防衛医科大学校防衛医学, 3) 警視庁警務部, 4) 防衛医科大学校外傷研究部門): 本邦における事態対処医療 (Tactical Medicine) の現状. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 60) 須崎 真¹⁾, 荒木 尚^{1,2)}, 若栗大朗¹⁾, 小原俊彦¹⁾, 小野寺直子¹⁾, 兵働英也¹⁾, 宮内雅人^{1,2)}, 増野智彦²⁾, 川井 真^{1,2)}, 横田裕行²⁾, 安武正弘¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院総合診療センター, 2) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター): 小児外傷診療における ER の役割と今後の展望. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 61) 渡邊顕弘, 田上 隆, 横堀将司, 松本 学, 恩田秀賢, 布施 明, 磯谷栄二¹⁾, 横田裕行 (1) 東京女子医科大学東医療センター): クモ膜下出血術後の CRP と予後との関連性—SHA PiCCO 多施設共同研究の結果から—. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 62) 五十嵐豊, 松田陽子¹⁾, 布施 明, 石渡俊行²⁾, 内藤善哉²⁾, 横田裕行 (1) 東京都健康長寿医療センター病理診断科, 2) 日本医科大学大学院病理学 (統御機構・腫瘍学)): マイクロ波照射によるラット頭部外傷モデルの作製. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 63) 中江竜太¹⁾, 高山泰広, 桑本健太郎, 直江康孝¹⁾, 佐藤秀貴, 横田裕行 (1) 川口市立医療センター救命救急センター): Talk and Deteriorate の経過を呈した頭部外傷患者における D-dimer の検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 64) 布施 明^{1,2)}, 大西光雄²⁾, 勝見 敦²⁾, 北川喜己²⁾, 小林良三²⁾, 高橋 功²⁾, 中尾博之²⁾, 肥留川賢一²⁾, 眞瀬智彦²⁾, 森野一真²⁾, 山内 聡²⁾ (1) 日本医科大学付属病院救命救急科, 2) 公益社団法人全日本病院協会 AMAT 研修ワーキンググループ): AMAT (全日本病院協会災害時医療支援活動班) 活動の基本概念についての検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 65) 橋詰哲広, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 白銀一貴, 井上泰豪, 恩田秀賢, 横堀将司, 布施 明, 横田裕行: 当院 3 次救命救急センターにおける脳梗塞患者の特徴と転帰. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 66) 山口昌紘, 鈴木 剛, 草野輝男¹⁾, 布施 明, 岡本 研¹⁾, 折茂英生¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学生化学・分子生物学 (代謝・栄養学)): 全脳虚血再灌流障害モデルマウスにおける酸化ストレスマーカーの検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 67) 金 史英, 増野智彦, 恩田秀賢, 横堀将司, 塚本剛志, 新井正徳, 辻井厚子, 布施 明, 横田裕行: 中央手術室以外での緊急手術に対する安全管理と non-technical skills (NTS) training. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 68) 田邊晴山¹⁾, 横田裕行, 山本保博²⁾ (1) 救急救命東京研修所, 2) 一般財団法人救急振興財団): 救急救命士等の心肺蘇生の中止に関する研究. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 69) 宮内雅人, 松居亮平, 萩原 純, 石井浩統, 増野智彦, 金 史英, 横田裕行: 後期高齢者における非静脈瘤性上部消化管出血の臨床的特徴と治療方針について. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 70) 服部 陽¹⁾, 本村友一¹⁾, 齋藤伸行¹⁾, 八木貴典¹⁾, 原 義明¹⁾, 松本 尚¹⁾, 横田裕行, 富永 茂²⁾, 西本哲也³⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター, 2) 日本大学理工学部, 3) 日本大学工学部): 医工連携交通事故実施調査によるシートベルト損傷の検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 71) 富永直樹, 増野智彦, 小林克也¹⁾, 鈴木健一²⁾, 池山貴也³⁾, 齋藤 修³⁾, 清水直樹³⁾, 竹田晋浩¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学付属病院麻酔科, 2) 日本医科大学付属病院 ME 部, 3) 東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部): ECMO 患者病院間搬送に向けた当院での取り組み. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡), 2014. 10.
- 72) 恩田秀賢, 山口昌紘, 五十嵐豊, 井上泰豪, 赤野文宏, 横堀将司, 桑本健太郎, 布施 明, 横田裕行: くも膜下出血術後髄液中 IL-6 の推移. 日本脳卒中学会総会 (第40回) (広島市), 2015. 3.
- 73) 恩田秀賢, 金谷貴大, 山口昌紘, 五十嵐豊, 井上泰豪, 白銀一貴, 橋詰哲広, 横堀将司, 布施 明, 横田裕行: くも膜下出血術後の髄液中サイトカイン (IL-6) の検討. 日本脳神経モニタリング学会 (第20回) (東京), 2014. 7.
- 74) 宮内雅人, 石井浩統, 橋詰哲広, 増野智彦, 横田裕行: 当院における黄色ブドウ球菌の血液培養陽性症例における胸部 CT 画像所見の特徴. 日本集中治療医学会学術集会 (第42回) (東京), 2015. 2.
- 75) 片桐美和, 石井浩統, 萩原 純, 吉田良太郎, 松居亮平, 賀 亮, 新井正徳, 金 史英, 横田裕行, 笠井華子, 池田慎平, 吉野雄大: 当科における非閉塞性腸間膜虚血症 10 例の検討. 日本 Acute Care Surgery 学会学術集会 (第6回) (青森), 2014. 9.
- 76) 松本 学^{1,2)}, 小林辰輔¹⁾, 岩瀬史朗¹⁾, 井上潤一¹⁾, 宮崎善史¹⁾, 大嶽康介¹⁾, 加藤頼子¹⁾, 池田督司¹⁾, 木下大輔¹⁾, 横田裕行²⁾ (1) 山梨県立中央病院救命救急センター, 2) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター): ECLS 離脱後大腿動脈仮性動脈瘤に対し

Covered Stent 留置術を施行した1例. 日本集中治療医学会学術集会 (第42回) (東京), 2015. 2.

(12) 一般示説:

- 1) 片桐美和, 松居亮平, 萩原 純, 吉田良太郎, 石井浩統, 金 史英, 増野智彦, 宮内雅人, 新井正徳, 辻井厚子, 横田裕行: 多発外傷, 外傷性頭蓋内出血術後7日目に発症した遅発性脾破裂の1例. 日本腹部救急医学会総会 (第51回) (京都), 2015. 3.

論文

[追加分]

追加分総説:

- 1) Povlishock J, Yokobori S, Kuroda Y, Polderman K: Cooling Strategies Targeting Trauma. *Ther Hypothermia Temp Manag.* 2014; 4 (1): 3-7.
- 2) Gajavelli S, Sinha V, Mazzeo A, Spurlock M, Lee S, Ahmed A, Yokobori S, Bullock M: Evidence to support mitochondrial neuroprotection, in severe traumatic brain injury. *J Bioenerg Biomembr.* 2015; 47 (1-2): 133-148.

著書

追加分:

- 1) 横堀将司: [共著] 頭蓋内圧, 内頸静脈酸素飽和度, Transcranial Doppler. 心停止後症候群に対する神経集中治療 (黒田泰弘), 2014; pp99-107, 総合医学社.
- 2) 横堀将司, 横田裕行: [共著] 頭部外傷. 救急・集中治療医学レビュー (島崎修次・前川剛志・岡本和文・横田裕行), 2014; pp190-196, 総合医学社.

[武蔵小杉病院救命救急センター]

研究概要

2014年の当科の業績を振り返ると, 外傷に関する著作が3点, 中毒に関する著作が2点あった. 外傷も中毒もどちらも, 本学救急医学教室の主要な研究テーマである. また, 発表に目を転じると, 救急医学領域全般に及ぶ多彩なテーマについて数多くの発表を行った. 感染症8題, 外傷5題, 熱傷3題, 教育3題, 救急医療システム3題, 心肺蘇生2題, 中毒1題, 災害医療1題といった具合である. 部長が交代して2年以上経過して, やっと当科の研究. 学会活動も活性化されてきた端緒となった1年であった. しかし, 内容は症例報告が多く, 本腰を入れた継続的な研究はこれからであり, 更に精進努力していかなければならないと考えている.

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) 吉田奈央³⁾, 野口周作³⁾, 望月 徹^{1, 2)}, 上野ひろむ²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, (2) 日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部, (3) 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部): ICT 抗菌薬ラウンドの有用性調査. *日本環境感染学会誌* 2014; 29 (4): 280-286.
- 2) 石丸直樹, 松田 潔, 菊池広子, 遠藤広史, 山村英治, 黒川 顕: 手術手技: ACS (Abdominal Compartment Syndrome) 予防法のひと工夫 (解説). *手術* 2014; 68 (12): 1605-1612.
- 3) Tajima H¹⁾, Onozawa S²⁾, Isshiki S³⁾, Takenoshita N¹⁾, Kaneshiro T¹⁾, Ichikawa T³⁾, Murata S²⁾, Matsuda K, Furukawa A⁴⁾ (1) Center for Minimally Invasive Treatment, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital, (2) Radiology, Nippon Medical School Hospital, (3) Radiology, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital, (4) Department of Radiological Science, Tokyo Metropolitan University): Angiography-assisted computed tomography for the detection and intervention of a subtle aneurysm of the omentum. *Japan Journal of Radiology* 2014; 32 (4): 238-241.

(2) 総説:

- 1) 菊池広子, 松田 潔: 【酸素の生体作用—基礎研究から応用医学までの新機軸—】一酸化炭素中毒と低酸素血症. *THE LUNG-perspectives* 2014; 22 (3): 299-302.

著書

- 1) 松田 潔: [分担] 四肢外傷. 改訂第3版外傷初期看護ガイドライン JNTEC, 2014; pp82-85, へるす出版.

学会発表

(1) シンポジウム：

- 1) 松田兼一¹⁾, 岩瀬史明²⁾, 松田 潔¹⁾ (山梨大学医学部救急集中治療医学講座, ²⁾ 山梨県立中央病院救命救急センター)：救急救命士の再教育を考える 山梨県における MC 協議会の位置づけと救急救命士再教育の現状. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 2) 松田 潔：私が信州地方会を選んだ理由. 日本熱傷学会甲信地方会 (第 27 回) (長野), 2014. 9.
- 3) 田中秀治¹⁾, 齋藤大蔵¹⁾, 織田 順¹⁾, 上山昌史¹⁾, 松田 潔^{1,2)}, 春成伸之¹⁾, 矢島 務¹⁾, 関根和弘¹⁾ (¹⁾ 日本熱傷学会プレホスピタル委員会, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター)：日本におけるプレホスピタルの熱傷観察・処置・判断の改善のために. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
- 4) 松田 潔^{1,2)}, 田中秀治²⁾, 上山昌史²⁾, 織田 順²⁾, 関根和弘²⁾, 春成伸之²⁾, 齋藤大蔵²⁾ (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, ²⁾ 日本熱傷学会プレホスピタル委員会)：日本熱傷学会 PBEC コースの概要とコースカリキュラム. 日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
- 5) Tajima H¹⁾, Takenoshita N¹⁾, Kaneshiro T¹⁾, Onozawa S²⁾, Mine T²⁾, Ueda T²⁾, Murata S²⁾, Tajima N²⁾, Isshiki S³⁾, Ichikawa T³⁾, Matsuda K (¹⁾ Center for Minimally Invasive Treatment, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital, ²⁾ Radiology, Nippon Medical School Hospital, ³⁾ Radiology, Nippon Medical School Musashikosugi Hospital)：Angiography-assisted computed tomography for subtle aneurysms of the omentum. The Midnight Sun Conference, Symposium of the Scandinavian Japanese Radiological Society (10th), Nordic Japan PACS Symposium (13th) (Turku), 2014. 6.

(2) パネルディスカッション：

- 1) 岩瀬史明¹⁾, 宮崎善史¹⁾, 加藤頼子¹⁾, 小林辰輔¹⁾, 大嶽康介¹⁾, 木下大輔¹⁾, 松本 学¹⁾, 池田督司¹⁾, 井上潤一¹⁾, 松田 潔¹⁾ (山梨県立中央病院救命救急センター)：高齢者救急事案に係る課題と今後の展望 介護施設から当院救命救急センターに搬送された高齢者の検討. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 2) 岩瀬史明¹⁾, 井上潤一¹⁾, 小林辰輔¹⁾, 宮崎善史¹⁾, 松本 学¹⁾, 大嶽康介¹⁾, 加藤頼子¹⁾, 池田督司¹⁾, 木下大輔¹⁾, 松田 潔¹⁾ (山梨県立中央病院救命救急センター)：ドクターカーの病院外心肺停止症例に対する効果の検証. 日本病院前救急診療医学会総会 (第 9 回) (東京), 2014. 12.

(3) ワークショップ：

- 1) 本多 満^{1,3)}, 安心院康彦¹⁾, 岩瀬正顕¹⁾, 西本泰久¹⁾, 福岡譲二¹⁾, 畑 倫明¹⁾, 笠原真弓²⁾, 増山純二²⁾, 佐藤憲明²⁾, 松田 潔^{1,4)} (¹⁾ 日本臨床救急医学会教育研修委員会外傷初期診療におけるチーム医療推進検討ワーキンググループ, ²⁾ 日本救急看護学会 JNTEC 委員会, ³⁾ 東邦大学医療センター大森病院救命救急センター, ⁴⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター)：外傷診療におけるチーム医療 JATEC と JNTEC との連携 PTD 回避を目的とした外傷標準化コースでの連携. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 2) 石丸直樹, 笠井華子, 山村栄治, 遠藤広史, 橋詰哲広, 菊池広子, 黒川 顕, 松田 潔：外傷性腹部救急疾患に対するプライマリケアでの JATEC の重要性と応用. 日本腹部救急医学会総会 (第 51 回) (京都), 2015. 3.

(4) ポスター：

- 1) 門馬 治¹⁾, 松田 潔, 菊池広子 (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター看護部)：多発肋骨骨折に対し非侵襲的人工呼吸器管理を行った 1 例. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.
- 2) 遠藤広史, 松田 潔, 望月 徹, 石之神小織, 菊池広子, 石丸直樹, 山村英治, 黒川 顕：ARDS と急性腎障害を合併した重症レジオネラ肺炎の 3 症例. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 3) 菊池広子, 山村英治, 遠藤広史, 石丸直樹, 石之神小織, 望月 徹, 松田 潔, 黒川 顕：初期臨床研修を中断せざるを得なかった研修医への対応と問題. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 4) 望月 徹^{1,2)}, 松田 潔¹⁾, 石之神小織¹⁾, 菊池広子¹⁾, 遠藤広史¹⁾, 石丸直樹¹⁾, 山村英治¹⁾, 黒川 顕 (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部)：救命救急センターにおける MDRP アウトブレイク発生時の伝播拡大阻止策. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡), 2014. 10.
- 5) 高木宏治¹⁾, 佐藤直樹¹⁾, 曾根教子¹⁾, 徳山榮男¹⁾, 菊池有史¹⁾, 石川昌弘¹⁾, 松田 潔, 竹田晋浩²⁾, 清水 渉³⁾ (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院内科, ²⁾ 日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科, ³⁾ 日本医科大学付属病院循環器内科)：ECMO 管理中の理学療法が有効であった重症レジオネラ肺炎の 1 例. 日本集中治療医学会学術集会 (第 42 回) (東京), 2015. 2.

(5) 一般講演：

- 1) 望月 徹^{1,2)}, 上野ひろむ²⁾, 野口周作^{2,3)}, 山口朋禎^{2,4)}, 吉田奈央^{2,3)} (¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部, ³⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部, ⁴⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院内科)：当院の救命救急センターにおける MDRP アウトブレイク発生時の伝播拡大阻止策. 日本感染症学会 (第 88 回) (東京), 2014. 6.
- 2) 根井貴仁¹⁾, 園部一成¹⁾, 望月 徹^{2,3)} (¹⁾ 日本医科大学付属病院感染制御部, ²⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, ³⁾ 日

本医科大学武蔵小杉病院感染制御部)：非プラスミド型 AmpC β -lactamase 産生菌の第 3,4 世代セファロスポリン系抗菌薬の耐性化に関して。日本化学療法学会総会 (第 62 回) (福岡), 2014. 6.

- 3) 根井貴仁¹⁾, 園部一成¹⁾, 望月 徹^{2,3)}, 近藤麻加¹⁾, 板橋寿和¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院感染制御部, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, 3) 日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部)：Flavimonas orzyhabitans による菌血症の 2 例。日本化学療法学会総会 (第 62 回) (福岡), 2014. 6.
- 4) 野口周作¹⁾, 吉田奈央¹⁾, 望月 徹^{2,3)} (1) 日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, 3) 日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部)：当院におけるダプトマイシンの使用状況。日本化学療法学会総会 (第 62 回) (福岡), 2014. 6.
- 5) 石室正輝¹⁾, 小峰達也¹⁾, 松田 潔, 石之神小織, 菊池広子, 門馬 治²⁾, 黒川 顕, 小河原美代子²⁾, 小見山かおり²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター救急救命士, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院看護部)：病院職員としての救急救命士が, 病院リスクマネジメントに貢献する。日本臨床医学リスクマネジメント学会・学術集会 (第 12 回) (東京), 2014. 5.
- 6) 石之神小織, 松田 潔, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 河野陽介, 竹ノ下尚子, 竹島 元, 小峰達也, 黒川 顕：救急救命士による静脈路確保の現状と再教育病院研修における指導。日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第 17 回) (栃木), 2014. 5.
- 7) 松田 潔, 石之神小織, 菊池広子, 遠藤広史, 石丸直樹, 河野陽介, 山村英治, 賀 亮, 望月 徹, 竹ノ下尚子, 黒川 顕：急性腎不全により心肺停止に陥った脱法ハーブ中毒の 1 例。日本中毒学会総会 (第 36 回) (東京), 2014. 7.
- 8) 吉田文哉, 松田 潔, 橋詰哲広, 菊池広子, 石丸直樹, 遠藤広史, 山村栄治, 五十嵐由美, 小峰達也, 石室正輝, 佐藤直樹¹⁾, 菊池有史¹⁾, 黒川 顕 (1) 日本医科大学武蔵小杉病院内科)：院外心肺停止症例に対する当院における体外循環式心肺蘇生の導入実績とその短期的予後。日本救命医療学会総会 (第 29 回) (東京), 2014. 9.
- 9) 久能木俊之介¹⁾, 遠藤広史¹⁾, 松田 潔¹⁾, 菊池広子¹⁾, 石丸直樹¹⁾, 橋詰哲広¹⁾, 山村栄治¹⁾, 笠井華子¹⁾, 竹ノ下尚子³⁾, 望月 徹^{1,2)}, 黒川 顕¹⁾, 田島廣之³⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部, 3) 日本医科大学武蔵小杉病院血管内・低侵襲治療センター)：多発外傷に胆嚢動脈損傷をともなった 1 例。日本救急医学会関東地方会 (第 65 回) (横浜), 2015. 2.
- 10) 野原 剛¹⁾, 山村栄治¹⁾, 遠藤広史¹⁾, 石丸直樹¹⁾, 橋詰哲広¹⁾, 菊池広子¹⁾, 望月 徹^{1,2)}, 松田 潔¹⁾, 黒川 顕¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部)：観血的修復により良好な経過を得た腹膜外膀胱破裂の 1 例。日本腹部救急医学会総会 (第 51 回) (京都), 2015. 3.
- 11) 石丸直樹, 松田 潔, 菊池広子, 遠藤広史, 山村栄治, 黒川 顕, 山岸征嗣¹⁾, 中田亮輔¹⁾, 水谷 聡¹⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院消化器病センター)：肝細胞癌破裂による出血性ショックに対し ACS (Abdominal Compartment Syndrome 腹部コンパートメント症候群) の治療・予防を行った 1 例。日本臨床外科学会総会 (第 76 回) (福島), 2014. 11.
- 12) 山村栄治, 川口義樹¹⁾, 西原佑一¹⁾, 大住幸司¹⁾, 徳山 丞¹⁾, 浦上秀次郎¹⁾, 尾本健一郎²⁾, 石志 紘¹⁾, 島田 敦¹⁾, 松井 哲¹⁾, 大石 崇¹⁾, 磯部 陽¹⁾ (1) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター外科, 2) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター救命救急センター)：貧血のため小腸切除が必要となった肺癌多発小腸転移の 1 例。日本臨床外科学会総会 (第 76 回) (福島), 2014. 11.
- 13) 望月 徹^{1,2)}, 上野ひろむ²⁾, 小林綾乃²⁾, 野口周作²⁾, 吉田奈央²⁾, 吉岡美香²⁾ (1) 日本医科大学武蔵小杉病院救命救急センター, 2) 日本医科大学武蔵小杉病院感染制御部)：当院救命救急センターにおける多剤耐性菌発生時の監視培養を基にした一般病棟転棟・転出システム。日本環境感染学会総会 (第 30 回) (神戸), 2015. 2.

追加分一般講演：

- 1) 阪田 歩¹⁾, 多熊清継²⁾, 大城健一²⁾, 箕輪良行³⁾, 和田崇文³⁾, 松田 潔, 黒川 顕 (1) 川崎市消防局, 2) 川崎市立川崎病院, 3) 聖マリアンナ医科大学)：川崎市の救命救急センター 3 施設における「救急車ダイバージョン」：救急隊の視点からの報告。日本救急医学会関東地方会 (第 64 回) (横浜), 2014. 2.
- 2) 竹島 元, 河野陽介, 遠藤広史, 石丸直樹, 菊池広子, 石之神小織, 望月 徹, 松田 潔, 黒川 顕：偶発性低体温症に合併した非閉塞性腸管虚血症 (NOMI) の 1 例。日本救急医学会関東地方会 (第 64 回) (横浜), 2014. 2.
- 3) 鈴木貴博¹⁾, 大城健一²⁾, 東岡宏明³⁾, 松田 潔 (1) 川崎市立井田病院, 2) 川崎市立川崎病院, 3) 関東労災病院)：川崎市中原区における実践的な医療救護計画の策定。日本集団災害医学会総会 (第 19 回) (東京), 2014. 2.

[多摩永山病院救命救急センター]

研究概要

当施設は多摩地区の 3 次救急医療施設として多発外傷, 頭部外傷, 整形外科外傷, 熱傷, 虚血性心疾患, 脳血管障害, 薬物中毒, 災害医療と多岐に渡る患者に対して, それぞれの分野での専門医を中心に自己完結的に外科手術, 血管内治療を含む集中治療に当たるとともに, 各分野での臨床研究をおこなっている。重症患者における循環動態モニタリング, 頭部外傷に対する低体温療法, 脳梗塞急性期に対する rt-PA の投与, 血栓回収療法, 多発性外傷に対するダメージコントロール, 心肺停止の低体温療法などに取り組んでいる。また, ド

クターアンビュランスなど病院前から継続して行われる救急医療システムの改善についても救急救命士とともに検討している。また、災害医療に関しても国内、海外への派遣に積極的に参加し、学会および誌上報告を行っている。これらの活動を基に、公的機関へのデータ登録や、救急医療システム構築に協力している。

研究業績

著書

- 1) 久野将宗：〔分担〕 トリアージタッグの記載方法。1人でも多くの命を救うために トリアージ-日常からトリアージを考える (山本保博・鶴飼拓 二宮宣文・山口孝治), 2014; pp35-46, 荘道社。
- 2) 鈴木健介：〔分担〕 集客イベントにおけるトリアージ。1人でも多くの命を救うために トリアージ-日常からトリアージを考える (山本保博・鶴飼拓 二宮宣文・山口孝治), 2014; pp118-136, 荘道社。
- 3) 二宮宣文：〔分担〕 トリアージの教育・訓練方法。1人でも多くの命を救うために トリアージ-日常からトリアージを考える (山本保博・鶴飼拓 二宮宣文・山口孝治), 2014; pp193-195, 荘道社。
- 4) 畝本恭子：〔分担〕 A. 治療 脊髄損傷。今日の治療指針 (監修：山口徹・北原光夫 総編集：福井次矢・高木誠・小室一成), 2015; pp49-49, 医学書院。
- 5) 久野将宗：〔分担〕 B. 手技 カルディオバージョン。今日の治療指針 (監修：山口徹・北原光夫 総編集：福井次矢・高木誠・小室一成), 2015; pp86-86, 医学書院。

学会発表

(1) 特別講演：

- 1) 二宮宣文：Ready for action! Are you ready?. Asia Pacific Conference on Disaster Medicine (第12回) (東京ドームホテル (東京)), 2014. 9.

(2) シンポジウム：

- 1) 鈴木健介, 二宮宣文, 畝本恭子, 久野将宗, 諸江雄太, 乗本健太郎, 小柳正雄, 福田令雄, 金子純也, 磐井佑輔：救急救命士病院実習の問題点と対策。日本臨床救急医学会総会・学術集会 (第17回) (自治医科大学 (栃木県)), 2014. 5.
- 2) 鈴木健介, 久野将宗, 畝本恭子, 二宮宣文, 横田裕行：病院に所属する救急救命士の役割と機能。日本臨床脳神経外科学会 (第17回) (東京国際フォーラム (東京)), 2014. 7.
- 3) 金子純也, 谷 将星¹⁾, 佐藤 慎²⁾, 北橋章子, 石之神小織, 乗本健太郎, 畝本恭子, 横田裕行 (¹⁾ 会津中央病院救命救急センター, ²⁾ 国立病院機構災害医療センター)：当救命センターにおける頭部外傷の急性期戦略 急性期凝固障害への介入と穿頭術の積極的活用について。日本脳神経外傷学会 (第38回) (あわぎんホール (徳島)), 2015. 3.

(3) セミナー：

- 1) 畝本恭子：神経所見の診かた：個別実技指導。日本神経救急学会学術集会 (第28回) (熱海コンベンションホール (静岡県)), 2014. 7.

(4) ワークショップ：

- 1) 乗本健太郎, 金子純也, 高山恭広, 佐藤秀貴¹⁾, 諸江雄太, 小柳正雄, 福田令雄, 磐井佑輔, 久野将宗, 畝本恭子, 谷 将星, 横田裕行 (¹⁾ 東京臨海病院救急科)：重症頭部外傷における線溶系を指標とした戦略的 HITTT の有効性。日本外傷学会総会・学術集会 (第28回) (東京ビッグサイト (東京都)), 2014. 6.
- 2) 清水直樹¹⁾, 齊藤 修^{1,2)}, 池山貴也¹⁾, 秋山 類¹⁾, 新津健裕¹⁾, 井上信明¹⁾, 富永直樹, 増野智彦, 横田裕行, 竹田晋浩 (¹⁾ 東京都立小児総合医療センター, ²⁾ あいち小児保健医療総合センター)：小児重症呼吸不全症例の施設間搬送・ECMO 搬送について。日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡国際会議場 福岡サンパレスホテル&ホール (福岡)), 2014. 10.

(5) 一般講演：

- 1) 金子純也, 谷 将星, 磐井佑輔, 福田令雄, 北橋章子, 乗本健太郎, 久野将宗, 小柳正雄, 諸江雄太, 畝本恭子：当センターにおける外傷診療成績と防ぎ得た外傷死症例の検討。日本外傷学会総会・学術集会 (第28回) (東京ビッグサイト (東京都)), 2014. 6.
- 2) 鈴木健介, 久野将宗, 畝本恭子, 諸江雄太, 乗本健太郎, 小柳正雄, 北橋章子, 金子純也, 福田令雄, 磐井佑輔, 谷 将星, 二宮宣文：外傷ショック患者に対する病院前輸液の効果：救急救命士処置拡大に向けて。日本外傷学会総会・学術集会 (第28回) (東京ビッグサイト (東京都)), 2014. 6.
- 3) 金子純也, 谷 将星, 磐井佑輔, 福田令雄, 北橋章子, 乗本健太郎, 久野将宗, 小柳正雄, 諸江雄太, 畝本恭子：重症頭部外傷を合併した多発外傷に対する治療戦略。日本外傷学会総会・学術集会 (第28回) (東京ビッグサイト (東京都)), 2014. 6.
- 4) 諸江雄太, 畝本恭子, 福田令雄, 磐井佑輔, 乗本健太郎, 小柳正雄, 金子純也, 北橋章子, 谷 将星, 久野将宗：在宅酸素を要する高齢慢性呼吸器不全患者の fail chest を NPPV で管理し奏功した1例。日本外傷学会総会・学術集会 (第28回) (東京ビッグサイト (東京都)), 2014. 6.

- 5) 畝本恭子, 谷 将星, 磐井佑輔, 金子純也, 福田令雄, 北橋章子, 小柳正雄, 栗本健太郎, 諸江雄太, 久野将宗, 横田裕行: 当救命救急センターにおける後期高齢者外傷の現状. 日本外傷学会総会・学術集会 (第 28 回) (東京ビッグサイト (東京都)), 2014. 6.
- 6) 谷 将星, 畝本恭子, 富永直樹, 磐井佑輔, 金子純也, 北橋章子, 栗本健太郎, 久野将宗, 横田裕行: 基礎疾患のない劇症型肺炎球菌性髄膜炎の 1 例. 日本神経救急学会学術集会 (第 28 回) (熱海コンベンションホール (静岡県)), 2014. 7.
- 7) 富永直樹, 金子純也, 鈴木健介, 齋藤美紀子, 谷 将星, 磐井佑輔, 福田令雄, 北橋章子, 栗本健太郎, 石之神小織, 小柳正雄, 久野将宗, 諸江雄太, 畝本恭子: 意識障害にショックを合併し, 診断に難渋した副腎クリーゼの 1 例. 日本救命医療学会総会・学術集会 (第 29 回) (京王プラザホテル八王子 (東京)), 2014. 9.
- 8) 畝本恭子, 谷 将星, 富永直樹, 磐井佑輔, 金子純也, 福田令雄, 北橋章子, 小柳正雄, 栗本健太郎, 石之神小織, 久野将宗, 諸江雄太, 鈴木健介: 痙攣性疾患に対する病院前呼吸補助の意義. 日本救命医療学会総会・学術集会 (第 29 回) (京王プラザホテル八王子 (東京)), 2014. 9.
- 9) 鈴木健介, 谷 将星, 磐井佑輔, 福田令雄, 金子純也, 小柳正雄, 栗本健太郎, 諸江雄太, 久野将宗, 畝本恭子, 二宮宣文: 養護教諭がトリアージを実施するために: 医療資格の有無による検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡国際会議場 福岡サンパレスホテル&ホール (福岡)), 2014. 10.
- 10) 諸江雄太, 畝本恭子, 久野将宗, 栗本健太郎, 小柳正雄, 金子純也, 福田令雄, 磐井佑輔, 北橋章子, 谷 将星, 鈴木健介: 3 年間に当センターに入院となった外傷 441 症例の review. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡国際会議場 福岡サンパレスホテル&ホール (福岡)), 2014. 10.
- 11) 金子純也: 当救命センターでの頭部外傷診療急性期線溶亢進への介入と damage control surgery (DCS). 日本脳神経外科学会学術総会 (第 73 回) (グランドプリンスホテル新高輪 (東京)), 2014. 10.
- 12) 栗本健太郎: 自己完結型救命救急センターにおける重症くも膜下出血の治療成績. 日本脳神経外科学会学術総会 (第 73 回) (グランドプリンスホテル新高輪 (東京)), 2014. 10.
- 13) 諸江雄太, 畝本恭子, 栗本健太郎, 小柳正雄, 久野将宗, 北橋章子, 金子純也, 福田令雄, 磐井佑輔, 谷 将星, 鈴木健介: 高齢者外傷は非高齢者外傷より診療報酬請求が高いわけではない. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡国際会議場 福岡サンパレスホテル&ホール (福岡)), 2014. 10.
- 14) 曾根悦子¹⁾, 田中秀治²⁾, 木村昭夫³⁾, 菊野隆明⁴⁾, 久野将宗, 小井土雄⁵⁾, 市川政雄⁶⁾, 中尾俊一郎³⁾, 松下奈津美¹⁾ (1) 国士舘大学体育学部, 2) 国士舘大学大学院救急システム研究科, 3) 国立国際医療研究センター病院, 4) 東京医療センター, 5) 災害医療センター, 6) 筑波大学医学部医療系): ラオスにおける病院前外傷教育の導入について. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡国際会議場 福岡サンパレスホテル&ホール (福岡)), 2014. 10.
- 15) 二宮宣文, 久野将宗, 鈴木健介: 災害復興期における心不全マーカー検査の有用性. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡国際会議場 福岡サンパレスホテル&ホール (福岡)), 2014. 10.
- 16) 畝本恭子, 谷 将星, 富永直樹, 磐井佑輔, 金子純也, 福田令雄, 北橋章子, 小柳正雄, 栗本健太郎, 久野将宗, 諸江雄太: 当救命救急センターにおける高齢者痙攣症例の検討. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡国際会議場 福岡サンパレスホテル&ホール (福岡)), 2014. 10.
- 17) 磐井佑輔, 谷 将星, 富永直樹, 金子純也, 福田令雄, 北橋章子, 栗本章子, 小柳正雄, 諸江雄太, 久野将宗, 畝本恭子: 脾摘・脾機能低下のない成人に発症した劇症型肺炎球菌感染症. 日本救急医学会総会・学術集会 (第 42 回) (福岡国際会議場 福岡サンパレスホテル&ホール (福岡)), 2014. 10.
- 18) 二宮宣文, 久野将宗, 鈴木健介, 曾山明美¹⁾, 戸松香代子¹⁾, 中司明希¹⁾, Edward S¹⁾ (1) 日本エマージェンシーアシスタンス株式会社): 固定翼機による航空医療搬送の実情と将来. 日本航空医療学会総会 (第 21 回) (ホテル阪神 (大阪)), 2014. 11.
- 19) 畝本恭子: 当施設における高齢者頭部外傷の予後に係る Talk and deteriorate の影響. 日本脳神経外科救急学会 (第 20 回) (セッションコンファレンス東京 (東京)), 2015. 1.
- 20) 金子純也, 鈴木健介, 磐井佑輔, 福田令雄, 北橋章子, 石之神小織, 小柳正雄, 久野将宗, 諸江雄太, 畝本恭子: 発熱と意識障害で発症し, 診断に苦慮した感染性心内膜炎の 1 例. 日本集中治療医学会学術集会 (第 42 回) (ホテル日航東京 ホテルグランバシフィック LE DAIBA (東京)), 2015. 2.
- 21) 二宮宣文, スハルナン シバスングラム¹⁾, 内間利菜¹⁾ (1) アクシオヘリックス株式会社): スーダンにおけるドクターカー配布支援. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第 20 回) (たましん RISURU ホール ザ・クレストンホテル立川 (東京)), 2015. 2.
- 22) 鈴木健介, 谷 将星, 磐井佑輔, 福田令雄, 金子純也, 北橋章子, 小柳正雄, 諸江雄太, 石之神小織, 久野将宗, 畝本恭子, 二宮宣文: 養護教諭によるトリアージの可能性. 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第 20 回) (たましん RISURU ホール ザ・クレストンホテル立川 (東京)), 2015. 2.
- 23) 久野将宗, 鈴木健介, 東岡宏明¹⁾, 吉岡留美²⁾, 高桑大介³⁾, 白倉透規⁴⁾, 小平博博⁵⁾, 川井和枝⁶⁾, 金子秀夫⁷⁾, 中村京子⁸⁾ (1) 労働者健康福祉機構関東東労災病院救急総合診療科, 2) 朝霞地区看護専門学校, 3) 日本赤十字社伊豆赤十字病院, 4) 医療法人立川メディカルセンター立川総合病院, 5) 明石市立市民病院救急総合診療科, 6) 社会福祉法人恩賜財団静岡済生会総合病院, 7) 社会医療法人財団

- 慈泉会相澤病院, 8) 株式会社ノルメカエイシア) : 日本集団災害医学会セミナー (JADMS) のトリアージ教育プログラムについて, 日本集団災害医学会総会・学術集会 (第20回) (たましんRISURUホール ザ・クレストンホテル立川 (東京)), 2015. 2.
- 24) 富永直樹, 磐井佑輔, 福田令雄, 北橋章子, 栗本健太郎, 石之神小織, 小柳正雄, 久野将宗, 諸江雄太, 畝本恭子 : 当施設での重症敗血症患者の治療成績. 日本集中治療医学会学術集会 (第42回) (ホテル日航東京 ホテルグランパシフィック LE DAIBA (東京)), 2015. 2.
- 25) 北橋章子, 谷 将星, 金子純也, 石之神小織, 畝本恭子 : 急性硬膜下血腫の亜急性期に脳腫脹の増悪をきたした1例. 日本脳神経外傷学会 (第38回) (あわぎんホール (徳島)), 2015. 3.
- 26) 谷 将星¹⁾, 金子純也, 北橋章子, 石之神小織, 栗本健太郎, 畝本恭子 (1) 会津中央病院救命救急センター) : Prehospital care と迅速な穿頭術が有効であった墜落による切迫脳ヘルニアの1例. 日本脳神経外傷学会 (第38回) (あわぎんホール (徳島)), 2015. 3.
- 27) 藤木 悠¹⁾, 中江竜太²⁾, 佐藤 慎, 金子純也, 松本 学, 直江康孝²⁾, 横田裕行, 兵頭明夫³⁾, 小林士郎¹⁾, 森田明夫⁴⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院脳神経外科, 2) 川口市立医療センター救命救急センター, 3) 獨協医科大学越谷病院脳神経外科, 4) 日本医科大学付属病院脳神経外科) : 頭部顔面外傷患者に合併した内頸動脈海綿静脈洞瘻の3例. 日本脳神経外傷学会 (第38回) (あわぎんホール (徳島)), 2015. 3.
- 28) 富永直樹, 増野智彦, 小林克也¹⁾, 鈴木健一²⁾, 山口大介³⁾, 市場晋吾⁴⁾, 落合亮一⁵⁾, 竹田晋浩¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学付属病院麻酔科, 2) 日本医科大学付属病院 ME 部, 3) 航空自衛隊航空機動衛生隊, 4) 岡山大学病院救急科, 5) 東邦大学医療センター大森病院麻酔科) : 航空輸送機を使用した ECMO 装着患者広域搬送への取り組み. 日本集中治療医学会学術集会 (第42回) (ホテル日航東京 ホテルグランパシフィック LE DAIBA (東京)), 2015. 2.
- (6) 特別企画 :
- 1) 畝本恭子, 岡田昌彦¹⁾, 木田真紀¹⁾, 木村昭夫¹⁾, 角 由佳¹⁾, 本田ゆみえ¹⁾, 矢口有乃¹⁾, 田中 裕¹⁾ (1) 日本救急医学会女性医師参画推進特別委員会) : 他学会の女性医師参画への取り組み. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡国際会議場 福岡サンパレスホテル&ホール (福岡)), 2014. 10.
- 2) 富永直樹, 増野智彦, 小林克也¹⁾, 鈴木健一²⁾, 池山貴也³⁾, 齊藤 修³⁾, 清水直樹³⁾, 竹田晋浩¹⁾, 横田裕行 (1) 日本医科大学付属病院麻酔科, 2) 日本医科大学付属病院 ME 部, 3) 東京都立小児総合医療センター救命・集中治療部) : ECMO 患者病院間搬送に向けた当院での取り組み. 日本救急医学会総会・学術集会 (第42回) (福岡国際会議場 福岡サンパレスホテル&ホール (福岡)), 2014. 10.

[千葉北総病院救命救急センター]

研究概要

当施設は千葉県北総地域の基幹救急医療施設として平成6年1月に開設し, その後, 平成8年1月に千葉県で最初の日本救急医学会指導医指定施設に, 同年11月に千葉県の基幹災害拠点病院に認可された. 平成11年4月には県内8施設目の救命救急センターに認定され, 各種学会, 研究会において活発な活動を行っている. 平成13年10月からは, 厚生労働省のドクターヘリ事業における千葉県の基地病院となり, 千葉県及び茨城県南部で発生した重症外傷, 薬物中毒, 急性冠症候群, 急性大動脈疾患, 脳卒中などの様々な重症患者に対して早期の医療介入を行い, 適切な治療を提供している. さらに, 平成22年6月からはドクターヘリ事業を補完する目的にラビッドカーの運用も開始し成果を挙げている. 教育活動としては, JATEC, JPTEC, MCLS, ATOM, SSTT などの標準化教育プログラムの指導者を多数擁し, 医師, 看護師, 救急救命士, 本学学生, 専門学校生などへの質の高い救急医療教育を提供している. また, フライトドクターを目指す医師のための教育プログラムも確立している. 対外的にも千葉県の災害医療対策の中心的存在として, 多数の訓練の企画立案, 実施に携わっている. 研究テーマは, 体幹部外傷や重症骨盤骨折の病態生理の解明に関する研究, 外傷患者に対するダメージコントロールの効果に関する研究, 救急医療システム, 特に外傷システムや新たな小児重症救急医療体制の構築に関する研究, 災害医療における現場動画転送に関する研究, メディカルコントロールに関する研究等, 多岐に渡っている. また, 日本大学工学部・理工学部や自動車メーカーと連携し, 交通事故調査と損傷の解明に関する産学共同研究も行っている. これらの研究成果を国内学会, 専門誌ばかりでなく国際学会や英文雑誌で発表し, 広く内外に情報発信している.

研究業績

論文

(1) 原著 :

- 1) 車田和也¹⁾, 西本哲也²⁾, 富永 茂³⁾, 本村友一⁴⁾ (1) 日本大学大学院, 2) 日本大学工学部, 3) 日本大学理工学部, 4) 日本医科大学千葉北総病院救命救急センター) : 自動車事故での脊椎損傷事例に関する解析. 日本機械学会 2014 年度年次大会論文集 2014.
- 2) Motomura T, Mashiko K, Matsumoto H, Motomura A¹⁾, Iwase H¹⁾, Oda S²⁾, Simamura F³⁾, Shoko T⁴⁾, Kitamura N⁵⁾, Sakaida K⁶⁾, Fukumoto Y⁷⁾, Kasuya M⁸⁾, Koyama T⁹⁾, Yokota H¹⁰⁾ (1) Department of Legal Medicine, Graduate School of

Medicine, Chiba University, ²⁾ Department of Emergency and Critical Care Medicine, Graduate School of Medicine, Chiba University, ³⁾ Chiba Emergency Medical Center, ⁴⁾ Trauma and Critical Care Center, Matsudo City Hospital, ⁵⁾ Department of Emergency and Critical Care Medicine, Kimitsu Chuo Hospital, ⁶⁾ Funabashi Municipal Medical Center, ⁷⁾ Juntendo University Urayasu Hospital, ⁸⁾ Asahi General Hospital, ⁹⁾ Department of Emergency Medicine, Kashiwa Hospital, the Jikei University School of Medicine, ¹⁰⁾ Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School) : Preventable Trauma Death after Traffic Accidents in Chiba Prefecture, Japan, 2011 : Problems and Solutions. J Nippon Med Sch 2014 ; 81 (5) : 320-327.

- 3) 向川康介¹⁾, 西本哲也¹⁾, 富永 茂²⁾, 本村友一, 益子邦洋 (¹⁾ 日本大学工学部, ²⁾ 日本大学理工学部) : 日米傷害予測モデルの交通事故実態調査に基づく検証. 自動車技術会論文集 2015 ; 46 (1) : 127-132.
- 4) 富永 茂¹⁾, 西本哲也²⁾, 本村友一, 松本 尚, Nils L³⁾, 木内 透³⁾ (¹⁾ 日本大学理工学部, ²⁾ 日本大学工学部, ³⁾ トヨタ自動車株式会社) : 日本の交通事故実態を反映した AACN 傷害予測アルゴリズムの研究. 自動車技術会雑誌 2014 ; 135 (14) : 5-10.
- 5) Hayashi S¹⁾, Homma H²⁾, Nito M⁴⁾, Oda J²⁾, Nishiyama T³⁾, Kawamoto A⁵⁾, Kawata S¹⁾, Sato N⁶⁾, Fukuhara T⁷⁾, Taguchi H⁸⁾, Mashiko K, Azuhata T⁹⁾, Kawai K²⁾, Suzuki T²⁾, Yukioka T²⁾, et al. (¹⁾ 東京医科大学解剖学, ²⁾ 東京医科大学救急医学, ³⁾ 東京医科大学麻酔科学, ⁴⁾ 愛知医科大学解剖学, ⁵⁾ 東京医科大学放射線医学, ⁶⁾ 京都大学初期診療・救急医学分野, ⁷⁾ 新潟大学高次災害救命医療センター, ⁸⁾ 近畿大学救急医学, ⁹⁾ 日本大学板橋病院救命救急センター, 他) : Saturated Salt Solution Method : A Useful Cadaver Embalming for Surgical Skills Training. Medicine 2014 ; 93 (27).

(2) 総説 :

- 1) 益子一樹 : ラビッドカー運用の特徴と課題広域外傷医療圏とラビッドレスポンスカーの役割. 救急医学 2014 ; 38 (11) : 1461-1465.
- 2) 原 義明 : ドクターヘリ&ラビッド/ドクターカーによる救急現場での診療. 救急医学 2014 ; 38 (11) : 1358-1362.
- 3) 八木貴典, 松本 尚 : ドクターヘリの基礎知識. 救急医学 2014 ; 38 (11) : 1371-1374.
- 4) 松本 尚 : 救急医療体制 この15年. 千葉県医師会雑誌 2014 ; 66 (8) : 424-425.
- 5) 益子一樹, 安松比呂志, 本村友一, 林田和之, 齋藤伸行, 八木貴典, 松本 尚, 益子邦洋¹⁾ (¹⁾ 南多摩病院) : Acute Care Surgery への取り組み : 実践と教育. 日本腹部救急医学会雑誌 2014 ; 34 (5) : 975-980.
- 6) 本村友一, 本庄貴志¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 看護部) : 今日もヘリ日和~第1回~ 東日本大震災×ドクターヘリ. Emergency Care 2015 ; 28 (1) : 68-71.
- 7) 本村友一, 大森章代¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 看護部) : 今日もヘリ日和~第2回~ 小児重症外傷~救え! 野球少年~. Emergency Care 2015 ; 28 (2) : 82-85.
- 8) 本村友一, 重山香織¹⁾ (¹⁾ 日本医科大学千葉北総病院 看護部) : 今日もヘリ日和~第3回~ 近未来の交通事故救急システム. Emergency Care 2015 ; 28 (3) : 102-106.
- 9) 安松比呂志, 松本 尚 : ドクターヘリ最前線. 救急医学 2014 ; 38 (13) : 1711-1714.
- 10) 大西志麻 : I 発熱した児への初期対応“見た目”を大事にして重症患者を見逃さない. 別冊 ER マガジン 2014 ; 11 (2) : 194-200.
- 11) 益子一樹 : I 総論初療室における蘇生処置 (ABCDE). 救急医学 2014 ; 38 (4) : 386-390.
- 12) 齋藤伸行 : 4. 凝固線異常を予防・回避するための蘇生カテコラミン. 救急・集中治療 2014 ; 26 (7・8) : 1108-1116.

(3) 研究報告書 :

- 1) 本村友一, 齋藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 西本哲也¹⁾ (¹⁾ 日本大学工学部) : 第 III 研究 : 日本医科大学千葉北総病院に搬送された交通事故患者データを活用した AACN アルゴリズムの検証. 平成 25 年度トヨタ受託研究 先進事故通報装置 (AACN) が起動するドクターヘリシステムの試行的事業開始に向けた研究報告書 2015 ; 19-22.
- 2) 本村友一, 齋藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 西本哲也¹⁾ (¹⁾ 日本大学工学部) : 第 IV 研究 : GIDAS データを活用したアルゴリズムの検証. 平成 25 年度トヨタ受託研究 先進事故通報装置 (AACN) が起動するドクターヘリシステムの試行的事業開始に向けた研究報告書 2015 ; 23-27.
- 3) 本村友一, 西本哲也¹⁾ (¹⁾ 日本大学工学部) : 第 V 研究 : 交通事故におけるドクターヘリ出動要請基準 (Field Triage 基準) の策定. 平成 25 年度トヨタ受託研究 先進事故通報装置 (AACN) が起動するドクターヘリシステムの試行的事業開始に向けた研究報告書 2015 ; 28-33.
- 4) 本村友一, 西本哲也¹⁾ (¹⁾ 日本大学工学部) : 第 VI 研究 : 重症度予測の指標とドクターヘリ起動基準の策定. 平成 25 年度トヨタ受託研究 先進事故通報装置 (AACN) が起動するドクターヘリシステムの試行的事業開始に向けた研究報告書 2015 ; 34-37.
- 5) 松本 尚, 横田英己¹⁾, 小野寺貴史¹⁾ (¹⁾ 朝日航洋株式会社) : 第 VII 研究 : ドクターヘリシステムの AACN による起動時の課題整理と運用マニュアル. 平成 25 年度トヨタ受託研究 先進事故通報装置 (AACN) が起動するドクターヘリシステムの試行的事業開始に向けた研究報告書 2015 ; 38-40.
- 6) 高木由紀子¹⁾, 米田 剛¹⁾, 森崎哲夫¹⁾, 松本 尚, 本村友一, 齋藤信夫²⁾, 横田英己³⁾ (¹⁾ KDDI 株式会社, ²⁾ 株式会社日本緊急通報サービス, ³⁾ 朝日航洋株式会社) : 第 VIII 研究 : AACN が起動するドクターヘリシステムの試行的事業開始に向けたプロトタイプシステムの研究・開発. 平成 25 年度トヨタ受託研究 先進事故通報装置 (AACN) が起動するドクターヘリシステムの試行的事業開

始に向けた研究報告書 2015: 41-45.

- 7) 本村友一: 第 IX 研究: 歩行者用の傷害予測アルゴリズム開発に向けた課題整理: 傷害予測因子や予後決定因子の抽出と, 傷害予測アルゴリズムのモデル開発. 平成 25 年度トヨタ受託研究 先進事故通報装置 (AACN) が起動するドクターヘリシステムの試行的事業開始に向けた研究報告書 2015: 19-22.

(4) 症例報告:

- 1) 三木隆久: Clamshell thoracotomy を必要とした鈍的心破裂の 2 症例. 心臓血管外科学会誌 Japanese Journal of Cardiovascular Surgery 2014; 43 (4): 230-233.
- 2) 服部 陽, 松本 尚, 安松比呂志, 三木隆久, 平林篤志, 亀山大介, 本村友一, 飯田浩章, 益子一樹, 齋藤伸行, 林田和之, 八木貴典, 原 義明, 益子邦洋, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学救急医学): Damage Control Resuscitation にて救命し得た鈍的心損傷の 1 例. 日本救急医学会関東地方会雑誌 2014; 35 (2): 281-285.
- 3) 齋藤伸行, 讃井将満¹⁾ (1) 自治医科大学附属さいたま医療センター 麻酔・集中治療部): JSEPTIC-CTG 活動報告⑧人工呼吸療法に関する疫学研究. INTENSIVIST 2014; 6 (4): 770-773.

著 書

- 1) 松本 尚: [共著] 3) ドクターカー (3) ラピッドカー. 病院前救急医学 (編著/小濱啓次), 2014; pp62-67, ヘルス出版.
- 2) 三木隆久, 齋藤伸行, 益子邦洋: [分担] IV 外傷・熱傷の診断・治療 34. 肺挫傷の治療指針. 救急・集中治療最新ガイドライン 2014・2015 (岡元和文), 2014; pp113-115, 総合医学社.
- 3) 齋藤伸行: [分担] 4 外傷周術期戦略. 外傷専門診療ガイドライン JETEC (監修/一般社団法人 日本外傷学会 編集/日本外傷学会専門診療ガイドライン編集委員会), 2014; pp208-220, へるす出版.
- 4) 齋藤伸行: [分担] 3 外傷患者における集中治療管理 ②循環管理. 外傷専門診療ガイドライン JETEC (監修/一般社団法人 日本外傷学会 編集/日本外傷学会専門診療ガイドライン編集委員会), 2014; pp284-293, へるす出版.
- 5) 齋藤伸行: [分担] 第 7 章 離脱 1. ウィーニングの用語とプロトコール. わかって動ける! 人工呼吸管理ポケットブック『どうしたらいいのか』すぐわかる, チェックリストと頻用データ (志馬伸朗), 2014; pp133-135, 羊土社.
- 6) 齋藤伸行: [分担] 第 7 章 離脱 2. 自発呼吸トライアル (SAT と SBT). わかって動ける! 人工呼吸管理ポケットブック『どうしたらいいのか』すぐわかる, チェックリストと頻用データ (志馬伸朗), 2014; pp136-138, 羊土社.
- 7) 齋藤伸行: [分担] 第 7 章 離脱 3. 抜管前の評価. わかって動ける! 人工呼吸管理ポケットブック『どうしたらいいのか』すぐわかる, チェックリストと頻用データ (志馬伸朗), 2014; pp139-141, 羊土社.
- 8) 齋藤伸行: [分担] 第 7 章 離脱 4. 抜管前の準備と抜管後の評価. わかって動ける! 人工呼吸管理ポケットブック『どうしたらいいのか』すぐわかる, チェックリストと頻用データ (志馬伸朗), 2014; pp142-143, 羊土社.

学会発表

(1) 招待講演:

- 1) Matsumoto H: ドクターヘリの過去・現在・将来. the 2014 Annual Congress of Korean Association of Aviation Emergency (Andong, Korea), 2014. 11.
- 2) 本村友一, 服部 陽, 近田祐介, 安松比呂志, 平林篤志, 飯田浩章, 益子一樹, 林田和之, 八木貴典, 齋藤伸行, 原 義明, 松本尚, 千葉春佳¹⁾, 八木健人¹⁾, 浮池孔洗¹⁾, その他 1 名 (1) NTT ドコモ株式会社): ドクターヘリ医師派遣現場からのスマートフォン動画伝送による救命術の早まり効果. 日本医工学治療学会 (第 31 回) (広島), 2015. 3.
- 3) 本村友一, 松本 尚, 益子邦洋¹⁾, 西本哲也²⁾, 木内 透³⁾, 吉田 傑⁴⁾, 石川博敏⁵⁾ (1) 南多摩病院, 2) 日本大学工学部, 3) トヨタ自動車株式会社, 4) 本田技研株式会社, 5) 救急ヘリ病院ネットワーク HEM-NET): 先進交通事故自動通報システム (AACN) が起動するドクターヘリシステムによる, 新たな乗用車乗員の救命の可能性. 日本医工学治療学会 (第 31 回) (広島), 2015. 3.

(2) シンポジウム:

- 1) 益子一樹, 松本 尚, 柴田あみ, 後藤美咲, 服部 陽, 大西志麻, 平林篤志, 近田祐介, 杉中宏司, 瀬尾卓生, 阪本太吾, 安松比呂志, 岡田一宏, 中山文彦, 本村友一, その他 5 名: 外傷蘇生における病院外蘇生の開胸術の位置づけ. 日本航空医療学会 (第 21 回) (大阪府大阪市), 2014. 11.
- 2) 齋藤伸行, 本村友一, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター): 重症外傷患者に対する大量輸血プロトコールの遵守は, 凝固能を改善するか?. 日本救急医学会 (第 42 回) (福岡県福岡市), 2014. 10.
- 3) 益子一樹, 安松比呂志, 林田和之, 松本 尚: 致命的な外傷性腹腔内出血に対する DCR with DCS. 日本腹部救急医学会総会 (第 51 回) (京都府京都市), 2015. 3.
- 4) 益子一樹, 松本 尚, 原 義明, 八木貴典, 齋藤伸行, 林田和之, 本村友一, 飯田浩章, 岡田一宏, 阪本太吾, 瀬尾卓生, 杉中宏司, 安松比呂志, 平林篤志, 近田祐介, その他 4 名: フィールドから始める外傷蘇生の “Maximum”: Resuscitative Field Thora-

cotomy. 日本外傷学会総会 (第 28 回) (東京), 2014. 6.

- 5) 益子一樹, 松本 尚, 原 義明, 八木貴典, 齋藤伸行, 本村友一, 林田和之, 飯田浩章, 岡田一宏, 阪本太吾, 安松比呂志, 杉中宏司, 瀬尾卓生, 平林篤志, 近田祐介, その他 5 名: 当センターにおける院外蘇生の開胸術施行例の検討. 日本病院前救急医療医学会 (第 9 回) (東京), 2014. 12.
 - 6) 安松比呂志, 齋藤伸行, 服部 陽, 本村友一, 益子一樹, 林田和之, 八木貴典, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学 救急医学): 重症腹部外傷に対する Abdominal Compartment Syndrome 回避のための multimodal strategy. 日本集中治療医学会学術集会 (第 42 回) (東京都, 港区), 2015. 2.
 - 7) 益子邦洋¹⁾, 松本 尚, 原 義明, 八木貴典, 本村友一 (1) 医療法人永生会 南多摩病院): 医工連携による外傷診療・予防研究の質向上を目指して. 日本交通科学学会 (第 50 回) (東京都, 品川区), 2014. 6.
 - 8) 齋藤伸行¹⁾, 八木貴典, 本村友一, 益子一樹, 林田和之, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行²⁾ (1) 筑波大学医学医療系臨床試験・臨床疫学教室, 2) 日本医科大学侵襲生体管理分野救急医学講座): 重症外傷患者に対する大量輸血プロトコルの遵守は, 早期死亡に影響するか? (R-Resuscitation: 凝固機能・止血を考慮した輸液・輸血療法). 日本外傷学会総会学術集会 (第 28 回), 2014. 6.
 - 9) 松本 尚, 林田和之, 益子一樹, 三木隆久, 本村友一, 安松比呂志, 服部 陽, 近田祐介, 八木貴典, 齋藤伸行, 益子邦洋, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学救急医学): 小児重症体幹部外傷に対する治療成績と診療システムの構築: “Trauma center-PICU complex model”. 日本外科学会定期学術集会 (第 114 回) (京都府), 2014. 4.
- (3) パネルディスカッション:
- 1) 服部 陽, 柴田あみ, 安松比呂志, 阪本太吾, 中山文彦, 本村友一, 益子一樹, 林田和之, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学 付属病院高度救命救急センター): 重症体幹部外傷救命のためのドクターヘリによる症例集約化の重要性. 腹部救急医学会総会 (第 51 回) (京都府京都市), 2015. 3.
- (4) セミナー:
- 1) Motomura T: The Effectiveness of the IOI in pre-hospital medical care. Asia Pacific Conference on Disaster Medicine (12th) (tokyo, Japan), 2014. 9.
- (5) ワークショップ:
- 1) 益子一樹, 服部 陽, 近田祐介, 平林篤志, 亀山大介, 安松比呂志, 三木隆久, 本村友一, 飯田浩章, 齋藤伸行, 林田和之, 八木貴典, 松本 尚, 原 義明, 益子邦洋: Trauma Operative “Management” はどうあるべきか. 日本外科学会定期学術集会 (第 114 回) (京都), 2014. 4.
 - 2) 益子一樹, 安松比呂志, 服部 陽, 阪本太吾, 中山文彦, 本村友一, 林田和之, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学大学院 救急医学分野): 十二指腸損傷に対する外科治療に標準化は可能か?. 日本 Acute Care Surgery 学会総会 (第 6 回) (青森), 2014. 9.
 - 3) 本村友一, 松本 尚, 中村光伸¹⁾, 小林啓二²⁾, 高森美枝³⁾, 富永康裕⁴⁾, 浮池孔洗⁴⁾, 八木健人⁴⁾, 千葉春佳⁴⁾, 横田英己⁵⁾, 小早川義貴⁶⁾, 小井土雄⁶⁾ (1) 前橋赤十字病院高度救命救急センター, 2) 宇宙航空研究開発機構 (JAXA), 3) 株式会社ウェザーニューズ, 4) 株式会社 NTT docomo, 5) 朝日航洋株式会社, 6) 国立病院機構災害医療センター): スマートフォン動画伝送システムの災害時活用についての検証. 日本集団災害医学会 (第 20 回) (東京都, 立川市), 2015. 2.
- (6) ポスター:
- 1) 岡田一宏, 齋藤伸行, 近田祐介, 安松比呂志, 本村友一, 益子一樹, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学 付属病院救命救急科): 当院における persistent inflammation, and immunosuppression, and catabolism syndrome (PICS) 症例の検討. 日本集中治療医学会学術集会 (第 42 回) (東京都, 港区), 2015. 2.
- (7) 一般講演:
- 1) Motomura T, Hattori Y, Konda Y, Yasumatsu H, Hirabayashi A, Suginaka H, Seo T, Sakamoto T, Okada K, Nakayama F, Iida H, Mashiko K, Hayashida K, Yagi T, Saito N, et al.: Real-Time Mobile Video Transmission System Using Smartphones in Disaster Site. APCDM (12) (Tokyo), 2014. 9.
 - 2) 車田和也¹⁾, 西本哲也²⁾, 富永 茂³⁾, 本村友一 (1) 日本大学大学院, 2) 日本大学工学部, 3) 日本大学理工学部): 自動車事故での脊椎損傷事例に関する解析. 日本機械学会 2014 年度年次大会 (東京), 2014. 9.
 - 3) 富永 茂¹⁾, 西本哲也²⁾, 本村友一, 松本 尚, Nils L³⁾, 木内 透³⁾ (1) 日本大学理工学部, 2) 日本大学工学部, 3) トヨタ自動車株式会社): 日本の交通事故実態を反映した AACN 傷害予測アルゴリズムの研究. 自動車技術会秋季学術講演会, 2014. 10.
 - 4) 向川康介¹⁾, 西本哲也²⁾, 富永 茂³⁾, 本村友一, 松本 尚 (1) 日本大学大学院, 2) 日本大学工学部, 3) 日本大学理工学部): 傷害予測モデルの適用限界についての事故事例解析. 自動車技術会秋季学術講演会, 2014. 10.
 - 5) 本村友一, 千葉春佳¹⁾, 八木健人¹⁾, 浮池孔洗¹⁾, 松本 尚, 服部 陽, 近田祐介, 安松比呂志, 平林篤志, 飯田浩章, 益子一樹, 林田和之, 八木貴典, 齋藤伸行, 原 義明, その他 1 名 (1) NTT ドコモ (株)): 医師派遣現場からのスマホ動画伝送による止血術の早まり効果. 日本航空医療学会 (第 21 回) (大阪), 2014. 11.
 - 6) 原 義明, 飯田浩章, 平林篤志, 川井 真¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター): 骨癒合過程における TGF- β ファミ

- リーの血漿中の濃度測定の意義。日本骨折治療学会（第40回）（熊本），2014. 6.
- 7) 飯田浩章, 原 義明, 後藤美咲, 市川頼子, 杉中宏司, 平林篤志, 瀬尾卓生, 松本 尚, 川井 真¹⁾, 横田裕行¹⁾, 齋藤伸行¹⁾ (日本医科大学救急医学講座) : 多発外傷を合併した大腿骨骨折治療の検討。日本救急医学会 (第42回) (福岡県福岡市), 2014. 10.
 - 8) 八木貴典, 齋藤伸行, 近田祐介, 安松比呂志, 本村友一, 益子一樹, 林田和之, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾, 大西志麻¹⁾ (日本医科大学救急医学講座) : 日本外傷データベースを用いた重症小児症例集約の必要性。日本救急医学会 (第42回) (福岡県福岡市), 2014. 10.
 - 9) 服部 陽, 本村友一, 齋藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾, 富永 茂²⁾, 西本哲也³⁾ (1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター, 2) 日本大学理工学部, 3) 日本大学工学部) : 医工連携交通事故実態調査によるシートベルト損傷の検討。日本救急医学会 (第42回) (福岡県福岡市), 2014. 10.
 - 10) 本村友一, 松本 尚, 益子邦洋¹⁾, 千葉県交通事故調査委員会²⁾ (1) 南多摩病院, 2) 千葉県交通事故調査委員会) : 救命救急センターと外傷 千葉県交通事故死亡事例5年間 (2008-12) の分析から。日本救急医学会 (第42回) (福岡県福岡市), 2014. 10.
 - 11) 原 義明, 八木貴典, 林田和之, 齋藤伸行, 飯田浩章, 本村友一, 益子一樹, 安松比呂志, 川井 真¹⁾, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター) : 当施設における骨盤輪骨折に対する急性期治療の妥当性。日本救急医学会 (第42回) (福岡県福岡市), 2014. 10.
 - 12) 張替奈緒¹⁾, 齋藤伸行, 松本 尚, 林田真喜子²⁾, 横田裕行³⁾ (1) 日本医科大学付属病院, 2) 日本医科大学法医学教室, 3) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター) : 経時的血中濃度測定を行ったグリホサート中毒の1例。日本救急医学会 (第42回) (福岡県福岡市), 2014. 10.
 - 13) 柴田あみ, 齋藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター) : カテーテル関連血流感染症後に発症した非典型溶血性尿毒症症候群 (atypical HUS) の1例。日本救急医学会 (第42回) (福岡県福岡市), 2014. 10.
 - 14) 後藤美咲, 齋藤伸行, 飯田浩章, 本村友一, 益子一樹, 林田和之, 八木貴典, 原 義明, 川井 真¹⁾, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター) : 環軸椎骨折は初期評価で疑えるか?。日本救急医学会 (第42回) (福岡県福岡市), 2014. 10.
 - 15) 阪本太吾, 益子一樹, 服部 陽, 安松比呂志, 中山文彦, 林田和之, 松本 尚 : 重症胸部外傷に対する Clamshell thoracotomy の成績。日本 Acute Care Surgery 学会 (第6回) (青森県青森市), 2014. 9.
 - 16) Mashiko K, Matsumoto H, Hara Y, Yagi T, Hayashida K, Saito N, Iida H, Motomura T, Nakatama F, Okada K, Sakamoto T, Yasumatsu H, Seo T, Suginaka K, Konda Y, et al. : Clamshell thoracotomy for resuscitation and repair of life-threatening chest injury. European Congress of Trauma & Emergency Surgery / 2nd World Trauma Congress (15th) (Frawnkfurt, Germany), 2014. 5.
 - 17) 益子一樹, 安松比呂志, 服部 陽, 阪本太吾, 中山文彦, 本村友一, 林田和之, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学大学院 救急医学分野) : 当施設における Acute Care Surgery 研修の現状。日本 Acute Care Surgery 学会総会 (青森), 2014. 9.
 - 18) 中山文彦, 松本 尚, 益子一樹, 齋藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 林田和之, 本村友一, 安松比呂志, 服部 陽, 阪本太吾 : 大動脈基部損傷・大動脈弁閉鎖不全を伴う鈍的多発外傷の1例。日本救急医学会関東地方会 (第65回) (神奈川県, 横浜市), 2015. 2.
 - 19) 岡田一宏, 八木貴典, 齋藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学付属病院高度救命救急センター) : 外傷における急性呼吸不全に対して Venovenous extracorporeal membrane oxygenation (VV-ECMO) を導入した5例の臨床的検討。日本救急医学会関東地方会 (第65回) (神奈川県横浜市), 2015. 2.
 - 20) 杉中宏司, 平林篤志, 瀬尾卓生, 阪本太吾, 岡田一宏, 中山文彦, 本村友一, 飯田浩章, 益子一樹, 林田和之, 八木貴典, 齋藤伸行, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学大学院 救急医学分野) : フライトドクターが行う advanced field triage についての検討。日本救急医学会関東地方会 (第65回) (神奈川県, 横浜市), 2015. 2.
 - 21) 馬替 仁¹⁾, 片山皓希¹⁾, 賀川東洋¹⁾, 渡邊暁洋¹⁾, 福田恵子¹⁾, 若松孝嘉²⁾, 柳下照子²⁾, 齋藤伸行, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚 (1) 日本医科大学千葉北総病院 薬剤部, 2) 日本医科大学千葉北総病院 中央検査室) : 重症感染症における VCM の初期負荷投与が及ぼす準障害発現に関する検討。千葉重症感染症研究会 (第10回) (千葉県, 千葉市), 2014. 6.
 - 22) 飯田浩章 : 不安定型骨盤骨折に両側大腿骨・下腿骨折 (Floating Knee) を合併した2例。日本骨折治療学会 (第40回) (熊本県, 熊本市), 2014. 6.
 - 23) 平林篤志, 飯田浩章, 原 義明, 松本 尚, 川井 真¹⁾ (1) 日本医科大学救急医学) : 当科における高齢者骨盤輪骨折の周術期管理について。日本骨折治療学会 (第40回) (熊本), 2014. 6.
 - 24) 平林篤志, 八木貴典, 原 義明, 松本 尚, 横田裕行¹⁾ (1) 日本医科大学救急医学講座) : 病院前の不安定型骨盤輪骨折の診断の妥当性について。日本航空医療学会総会 (第21回) (大阪府, 大阪市), 2014. 11.
 - 25) 齋藤伸行, 松本 尚, 金 徹¹⁾, 岡崎大武²⁾, 鶴見昌史²⁾, 富田和憲²⁾, 品田卓郎²⁾, 畑 典武²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院麻酔科, 2) 日本医科大学千葉北総病院集中治療部) : 当院における周術期静脈血栓塞栓症の疫学調査。日本集中治療医学会学術集会 (第

42回) (東京), 2015. 2.

- 26) 齋藤伸行^{1,2)}, 八木貴典¹⁾, 松本 尚¹⁾, 原 義明¹⁾, 林田和之¹⁾, 本村友一¹⁾, 益子一樹¹⁾, 飯田浩章¹⁾, 横田裕行³⁾, 我妻ゆき子²⁾ (1) 日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター, 2) 筑波大学 医学医療系 臨床試験・臨床疫学教室, 3) 日本医科大学 侵襲生体管理分野 救急医学講座): Evaluation of the Safety and Feasibility of Resuscitative Endovascular Balloon Occlusion of the Aorta: REBOA in Japan. Annual Meeting of the American Association for the Surgery of Trauma and Clinical Congress of Acute Care Surgery (73rd) (Philadelphia, PA.), 2014. 9.
- 27) Matsumoto H: An Early Dispatch of Helicopter Emergency Medical Service via Advanced Automatic Collision Notification. Air Med world Congress 2014 (Roma), 2014. 6.
- 28) Matsumoto H, Motomura T, Nakamura M¹⁾, Kohayagawa Y²⁾, Koido Y³⁾, Yamaguchi M⁴⁾, Yokota H⁵⁾ (1) Maebashi Red Cross Hospital, 2) National Hospital Organization Disaster Medical Center, 3) Chiba City Fire Department, 4) Aero Asahi Corporation): Development of the Command System for "Doctor-Helicopter Fleet" in Major Disaster. Asia Pacific Conference on Disaster Medicine (the 12th) (Tokyo), 2014. 9.
- 29) 松本 尚: 胸腹部外傷. 小児救急集中治療ワークショップ (第22回) (つくば市), 2014. 10.
- 30) Matsumoto H, Hara Y, Yagi T, Hyashida K, Mashiko K, Saito N, Iida H, Motomura T, Miki T, Yasumatsu H, Kameyama D, Hirabayashi A, Hattori Y, Konda Y, Mashiko K: Impact of an urgent resuscitative surgery for severe torso trauma patients. European Congress of trauma & Emergency Surgery & 2nd World Trauma Congress (15th) (Frankfurt, Germany), 2014. 5.
- 31) Saito N, Sugiyama K¹⁾, Ohnuma T²⁾, Kanemura T³⁾, Nasu M⁴⁾, Yoshidomi Y⁵⁾, Adachi H⁶⁾, Koami H⁷⁾, Tsujimoto Y⁸⁾, Tochiki A⁹⁾, Wagatsuma Y¹⁰⁾, Myumi T (1) TOKYO METROPOLITAN BOKUTOH HOSPITAL, Dept emergency and critical care medicine, Tokyo, Japan, 2) Saitama medical center, Jichi Medical University, Dept anesthesiology and critical care medicine, Saitama, Japan, 3) National Hospital Organization Disaster Medical Center, Dept emergency and critical care medicine, Tokyo, Japan, 4) Urasoe general hospital, Dept emergency and critical care medicine, Okinawa, Japan, 5) Saga-ken medical center, Kos-eikan, Dept emergency and critical care medicine, Saga, Japan, 6) Iizuka hospital, Dept critical care medicine, Fukuoka, Japan, 7) Saga university hospital, Dept emergency and critical care medicine, Saga, Japan, 8) Yamagata Prefectural Central Hospital, Dept emergency and critical care medicine, Yamagata, Japan, 9) Tsukuba Medical Center Hospital, Dept emergency and critical care medicine, Ibaraki, Japan, 10) University of Tsukuba, Faculty of Medicine, Department of Clinical Trial and Clinical Epidemiology, Ibaraki, Japan): Effectiveness of polymyxin b immobilized fiber hemoperfusion in patients with septic shock due to gram-negative bacillus infection: the PMXHP study. International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (35th) (ベルギー, ブリュッセル), 2015. 3.
- 32) Ohnishi S, Saito N, Yagi T, Konda Y, Hara Y, Matsumoto H: Association with amount of registration and outcome in pediatric severe trauma patients. International Symposium on Intensive Care and Emergency Medicine (35th) (ベルギー, ブリュッセル), 2015. 3.
- (8) 総会特別企画:
- 1) 松本 尚: Acute Care Surgery: 外科学の一分野としての"救急・外傷外科" (若手外科医のための教育セッション). 日本臨床外科学会総会 (第76回) (郡山市民文化センター他), 2014. 11.

学会発表

[追加分]

追加分教育セミナー:

- 1) 松本 尚: 重症腹部外傷に対する救急室開腹, DCS と治療成績. 日本腹部救急医学会総会 (第50回) (東京都), 2014. 3.